2026年12月期　第3四半期決算説明資料

株式会社フツパー

東証グロース市場 (478A) 2026.11.16

©Hutzper Inc. all rights reserved.

KPI実績（2026年12月期３Q）

POINT

売上高は、968百万円（前年同期比+29%）。展示会出展の拡大等により取引社数は174社（同+49社）に増加し、GENIAC等の大型案件も増収に寄与。

営業利益は、112百万円（営業利益率12%）。人材採用・拠点拡充等の成長投資を1Qから先行して実施した一方、売上高は4Qに偏重する計画のため、3Q時点では前年同期比で減益。

受注残高は、1,018百万円（前年同期比+81%）と高水準を維持し、今期4Q及び来期以降の売上に向けて着実に積み上がり。

継続顧客売上高は、424百万円（前年同期比▲23%）。GENIAC等の新規の国家プロジェクト等により新規顧客売上高が452百万円と前年同期比で3倍以上に拡大したことに加え、前年同期に既存顧客への大型案件の納品が重なった反動が主な要因。一方で継続取引社数は増加しており、顧客基盤は着実に拡大。

Hutzper

売上高	営業利益	受注残高
968百万円	112百万円	1,018百万円
前年同期比+29%	営業利益率 12%	前年同期比+81%
（前年同期は750百万円）	（前年同期は203百万円）	（前年同期は562百万円）

取引社数 ※各期で累計	継続顧客売上高 ※2	ライセンス収入 ※1
174社	424百万円	90百万円
前年同期比＋49社	前年同期比▲23%	前年同期比＋46%
（前年同期は125社）	（前年同期は552百万円）	（前年同期は62百万円）

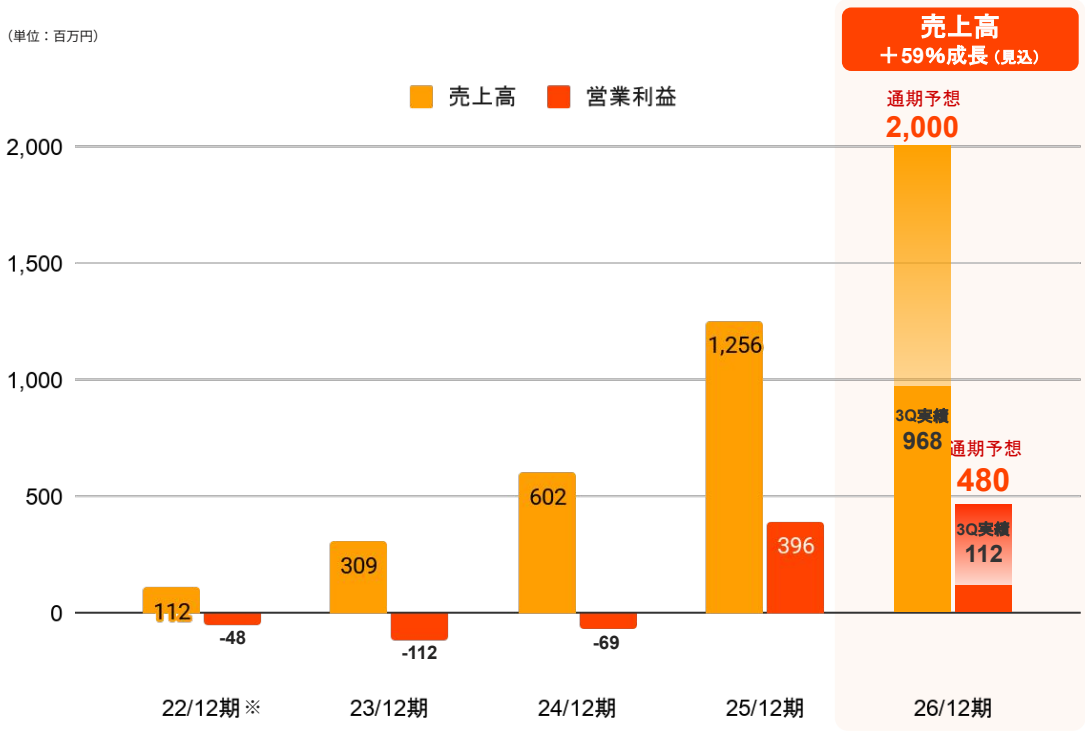
※1 ライセンス収入：AIプロダクトの月額利用料の合計（主にメキキバイトのHutzper Insight、スキルパズルの利用料）
※2 継続顧客売上高：当該年度の売上高 – 当該年度のライセンス収入 – 当該年度の新規顧客売上高
新規顧客売上高は当該年度のライセンス収入を除く新規顧客（過年度に取引のない顧客）からの売上高
主として過年度に取引した顧客からの別の製造ラインにかかるAI構築や過去実施した分析案件の次フェーズの売上等より構成される。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

Hutzper

業績ハイライト

下期偏重となる傾向は続くも、売上高は右肩上がりの成長を維持。
先行投資を推進しつつ、収益性の確保を両立。



※ 2022/12期は決算期変更につき、9ヶ月間の実績

売上高成長率（見込）
+59%（26/12期 通期）

通期営業利益（見込）
480 百万円

売上高成長継続

継続顧客からの受注を中心に、新規顧客の獲得も着実に積み上げ安定成長を実現。売上高成長率は59%を見込む。

安定した黒字体制

2025年12月期の黒字化以降、中長期の成長へ向けた先行投資を実施しながら収益性の確保も同時に実現。
今後も売上拡大に伴い、増収増益を見込む。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

資料目次

1 2026年12月期 ３Q実績

2 2026年12月期 業績予想

3 競争力の源泉・成長戦略

4 Appendix

©Hutzper Inc. all rights reserved.

1 2026年12月期 ３Q実績

３Qの実績について

1 2026年12月期 ３Q実績

2 2026年12月期 業績予想

3 競争力の源泉・成長戦略

4 Appendix

©Hutzper Inc. all rights reserved.

2026年12月期3Q損益計算書

業績は予想通りに進捗。人材採用を中心とした積極的な成長投資を継続。

（単位：百万円）	2025年12月期 ３Q実績	2026年12月期 ３Q実績	増減額	増減率
売上高	750	**968**	**+217**	**+29%**
売上原価	259	**285**	**+25**	**+10%**
売上総利益	490	**682**	**+192**	**+39%**
└売上総利益率	65%	**71%**	**－**	**+5pt**
販売費及び一般管理費	286	**570**	**+283**	**+99%**
営業利益	203	**112**	**▲91**	**▲45%**
└営業利益率	27%	**12%**	**－**	**▲16pt**
経常利益	212	**122**	**▲89**	**▲42%**
当期純利益	170	**82**	**▲88**	**▲52%**

売上高

売上高は968百万円（前年同期比+29%）。既存顧客からの継続受注に加え、新規顧客の獲得が進み、ほぼ計画通りに進捗。4Qには各社の納品を予定しており、通期業績予想の達成に向けて引き続き注力。

売上原価・売上総利益

売上原価は285百万円（+10%）となりましたが、増加率は売上高の伸び（+29%）を下回った結果、売上総利益は682百万円（+39%）、売上総利益率は71%（+5pt）に改善し、高い収益性を維持。

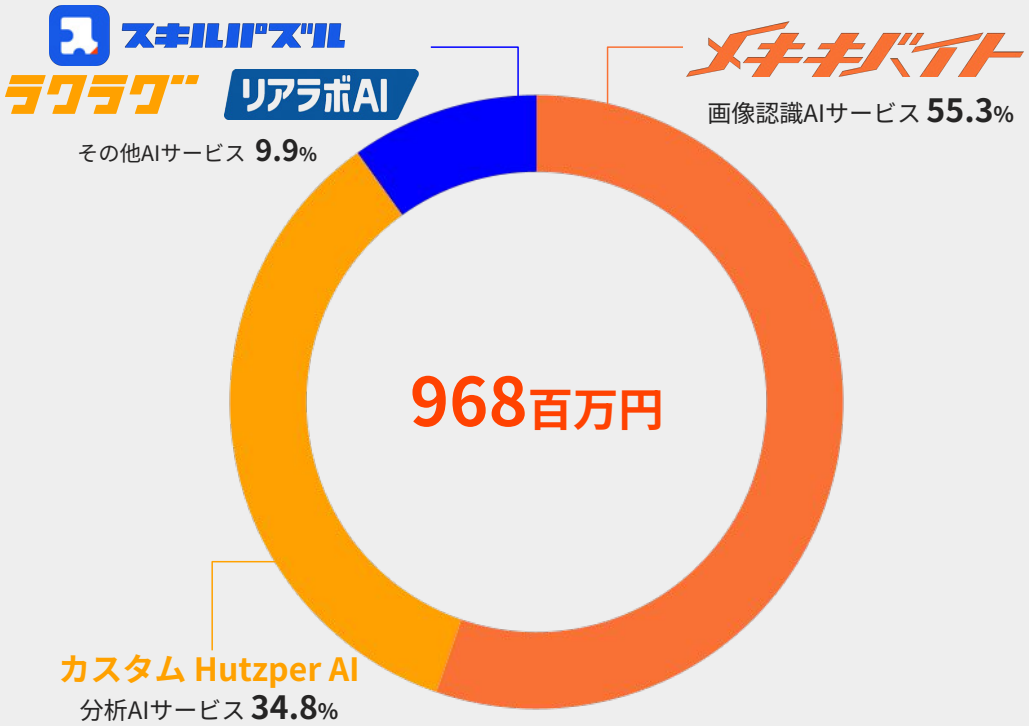
販管費・営業利益

体制強化に伴う組織拡大や新規顧客獲得に向けた展示会出展等の成長投資を継続。投資は計画通り進捗しており、獲得した人材及びパイプラインは今期末、翌期以降の業績拡大へ寄与する見込み。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

売上高のサービス別構成

（2026年12月期３Q実績）



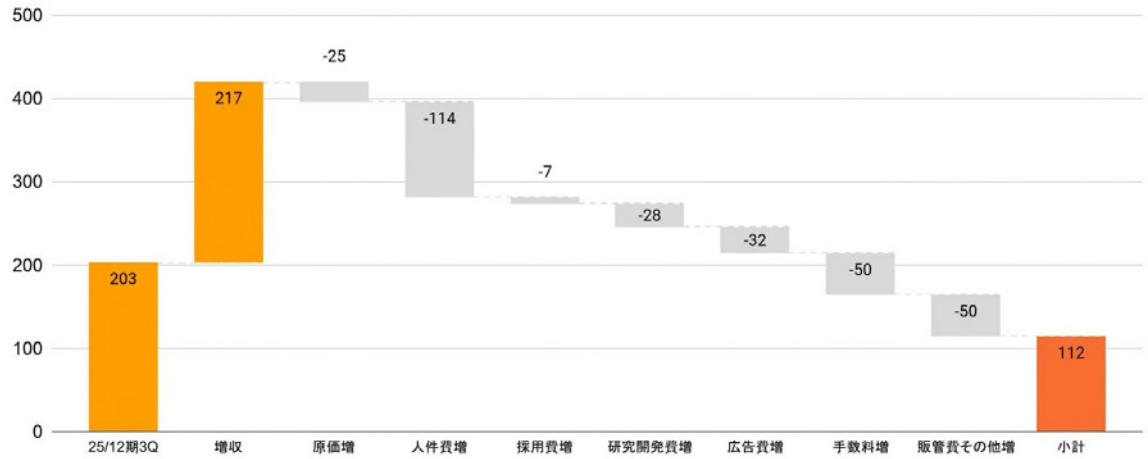
POINT

3Q累計では分析AIサービスの構成比が34.8%（2Q累計26.2%）に上昇。GENIACを中心としたエンタープライズ向け大型開発案件の進捗に伴う売上計上が主因。ハードウェアを伴わない開発案件が中心のため粗利率が相対的に高く、売上総利益率の改善（71%、前年同期比+5pt）にも寄与。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

2026年12月期３Qの営業利益の主な増減内訳

（単位：百万円）



（単位：百万円）	25/12期3Q	26/12期3Q	前年同期比	主な要因
人件費	162	276	+114	従業員の増加
採用費	2	10	+7	従業員増加に伴う採用費
研究開発費	28	56	+28	新製品、新機能の開発
広告費	10	42	+32	複数展示会への出展
支払手数料	37	88	+50	従業員数の増加、CRMツールの導入
その他経費	45	95	+50	関東支社移転に伴う賃料増加、減価償却費の増加
販売費及び一般管理費 合計	**286**	**570**	**+283**	

売上総利益

売上高が前年同期比+29%となった結果、売上総利益は192百万円の増加。

販売費及び一般管理費

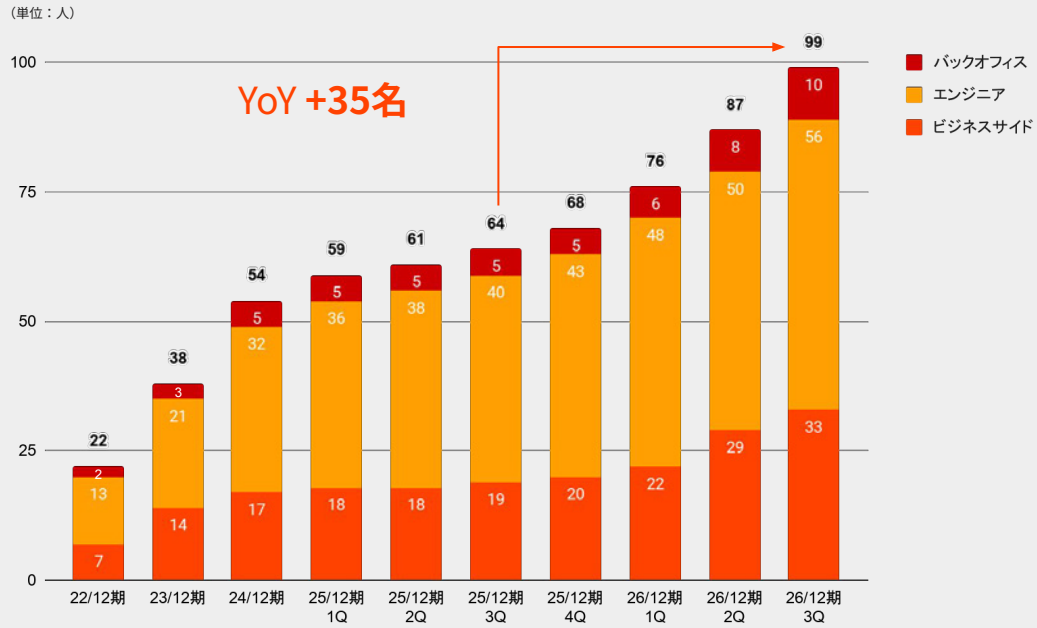
人件費を中心とした成長投資の継続により販管費が283百万円増加。その結果、営業利益は112百万円で着地。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

正社員数の推移

POINT

サービスの安定供給および継続的なプロダクト開発のため、営業・エンジニアを中心に各部門で採用を継続。

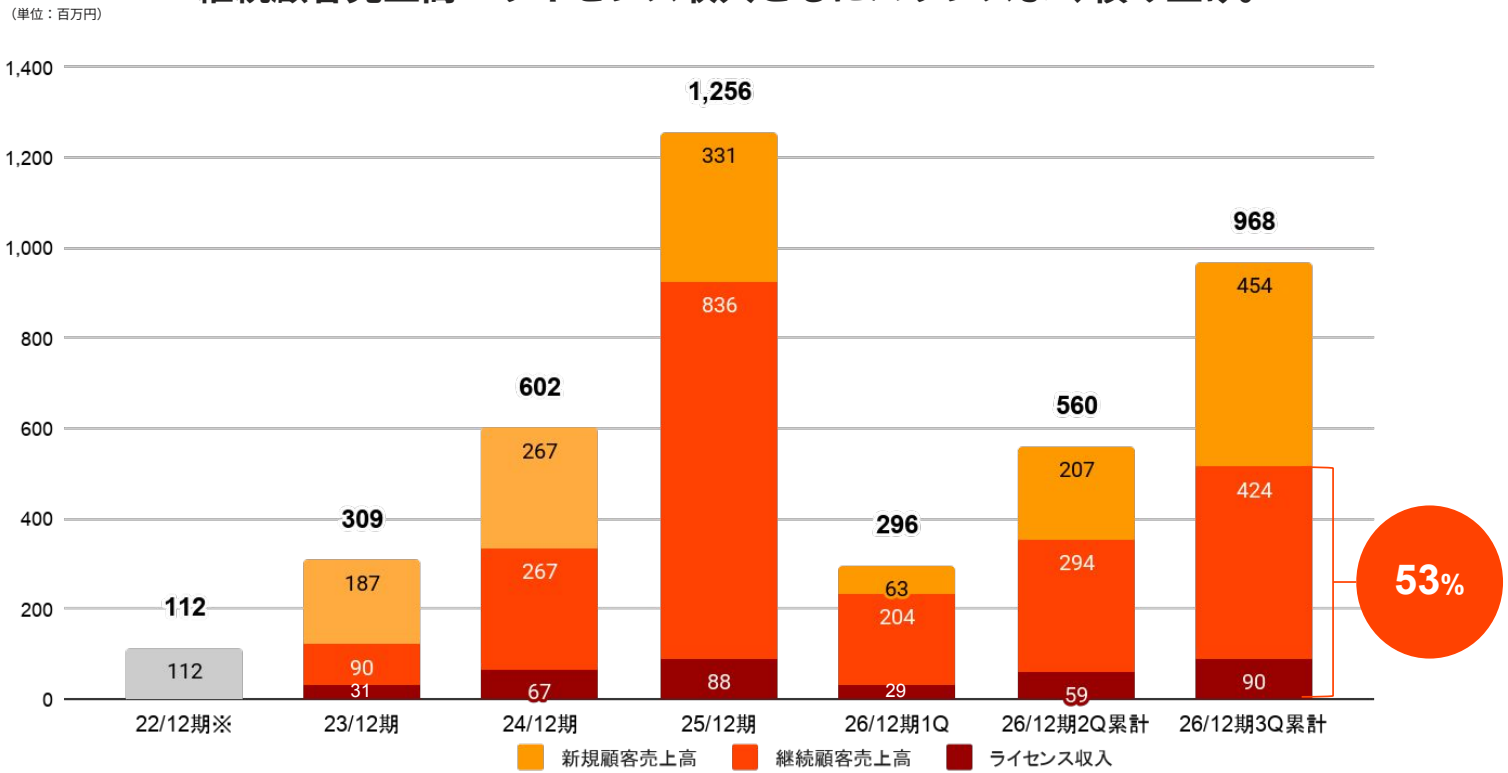


※ インターン・アルバイト除く

©Hutzper Inc. all rights reserved.

継続顧客売上高及びライセンス収入の推移

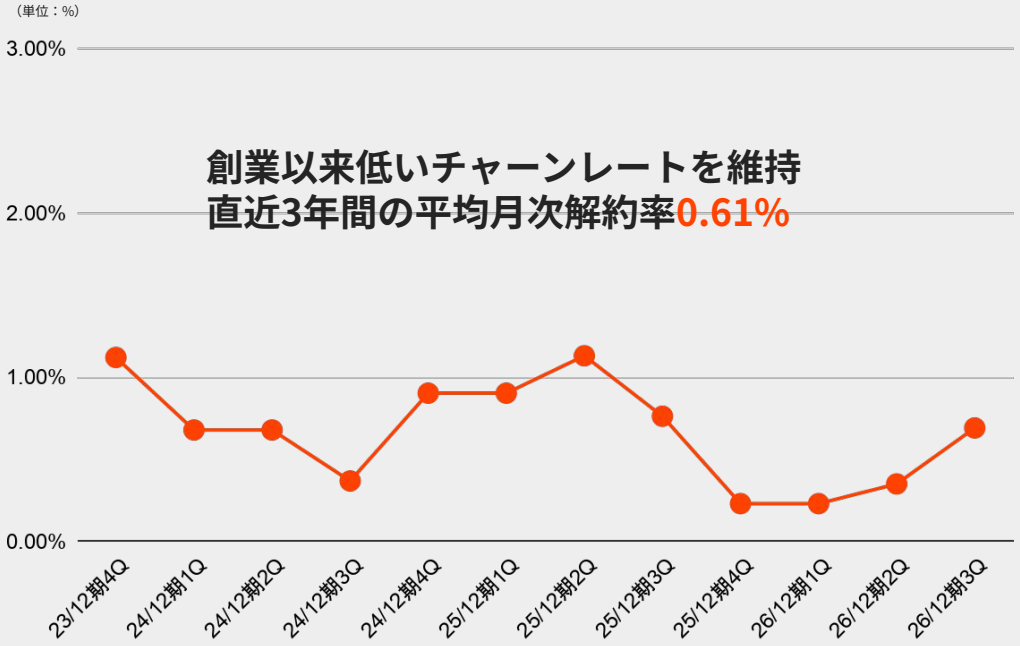
「GENIAC」等により新規比率は一時的に上昇しているが、継続顧客売上高・ライセンス収入ともにバランスよく積み上げ。



※ 2022/12期は決算期変更につき、9ヶ月間の実績

©Hutzper Inc. all rights reserved.

メキキバイトのサブスク解約率



市場定着が進み、解約率は0.69%
引き続き低水準を維持

解約率 ※1

0.69%

（2026年12月期３Q時点の12ヵ月平均）

主な解約ケース

- 対象製品の生産終了
- 投資期間の制約や業績悪化に伴う中止
- 特定品種や項目の追加等に伴う計画変更

...etc

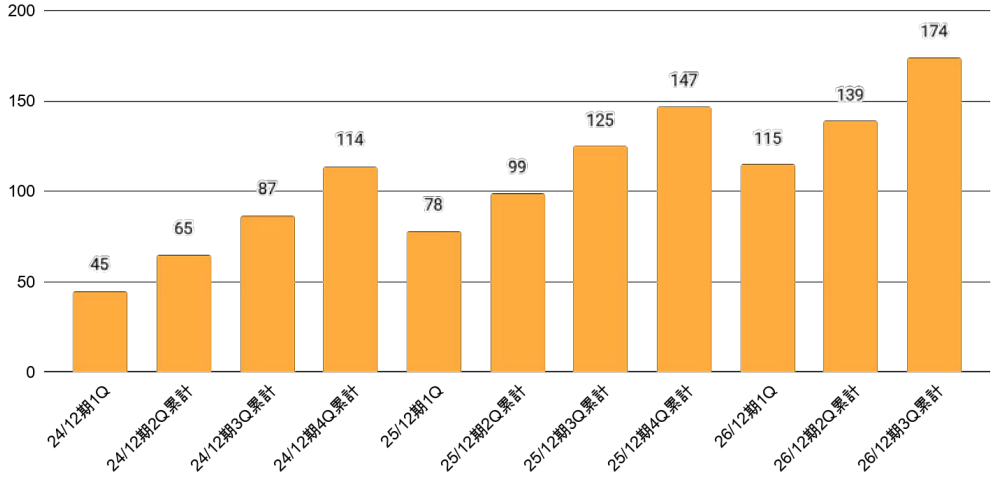
※1 月中の解約額 ÷ 前月末のライセンス収入 × 100（%）の対象期間12ヵ月の平均
※2 解約額及びライセンス収入は「Hutzper Insight」の金額を集計しております

©Hutzper Inc. all rights reserved.

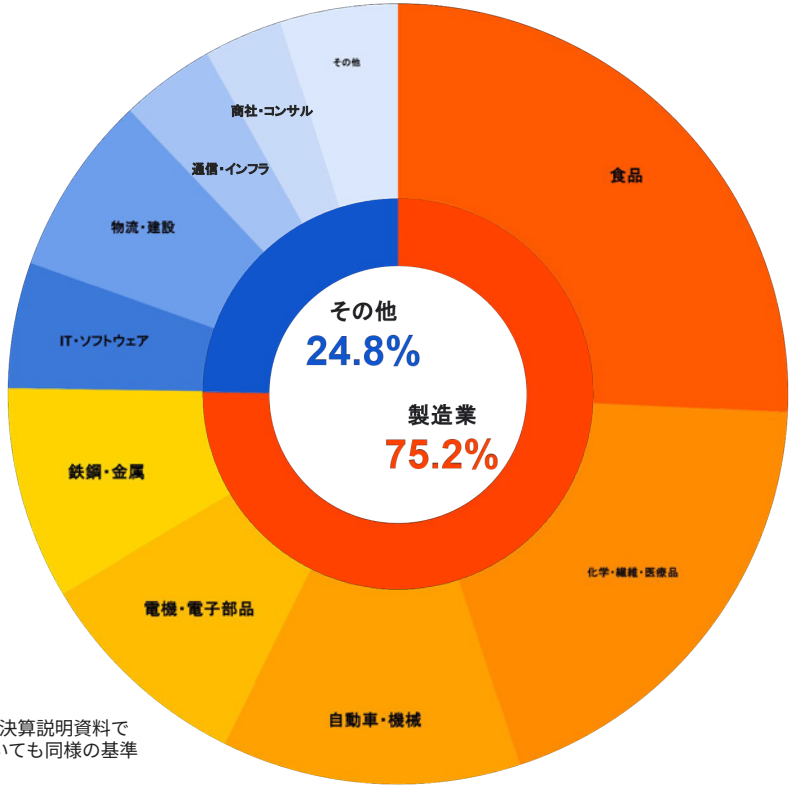
取引社数の推移

累計取引社数は前年同期比で増加傾向
製造業を中心に、幅広い業界にサービスを展開。

取引社数推移



取引社数の業界別内訳

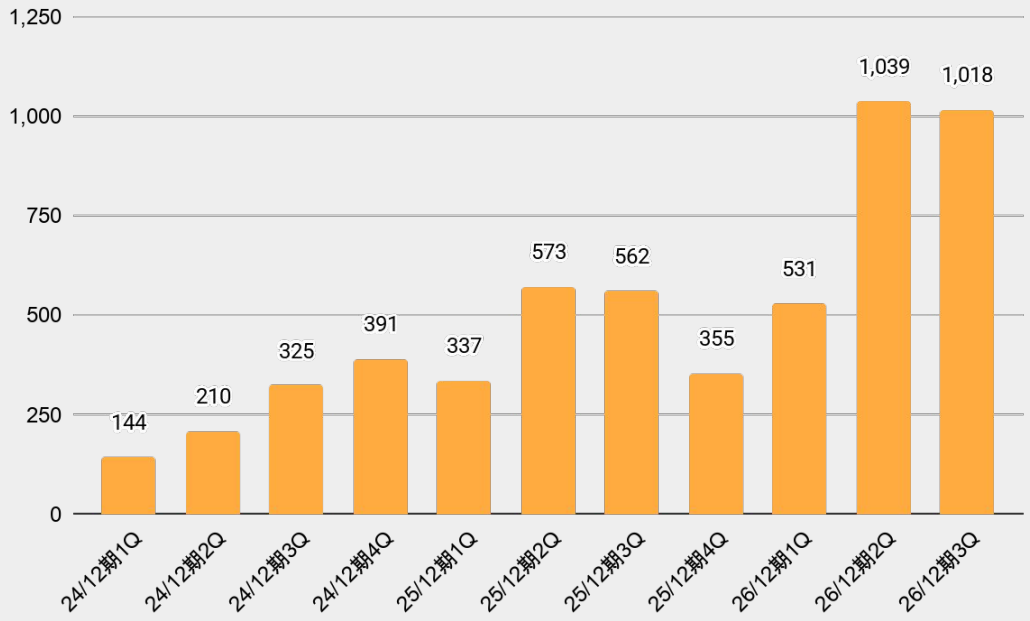


※ 取引社数は、各事業年度の期首から各四半期末までの累計期間において取引実績のある顧客数(重複除く)です。前回までの決算説明資料では、各四半期3か月間の取引社数を記載しておりましたが、本資料より累計期間の数値に修正しております。過去の数値についても同様の基準で遡及して修正し、記載しております。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

受注残高の推移

（単位：百万円）



POINT

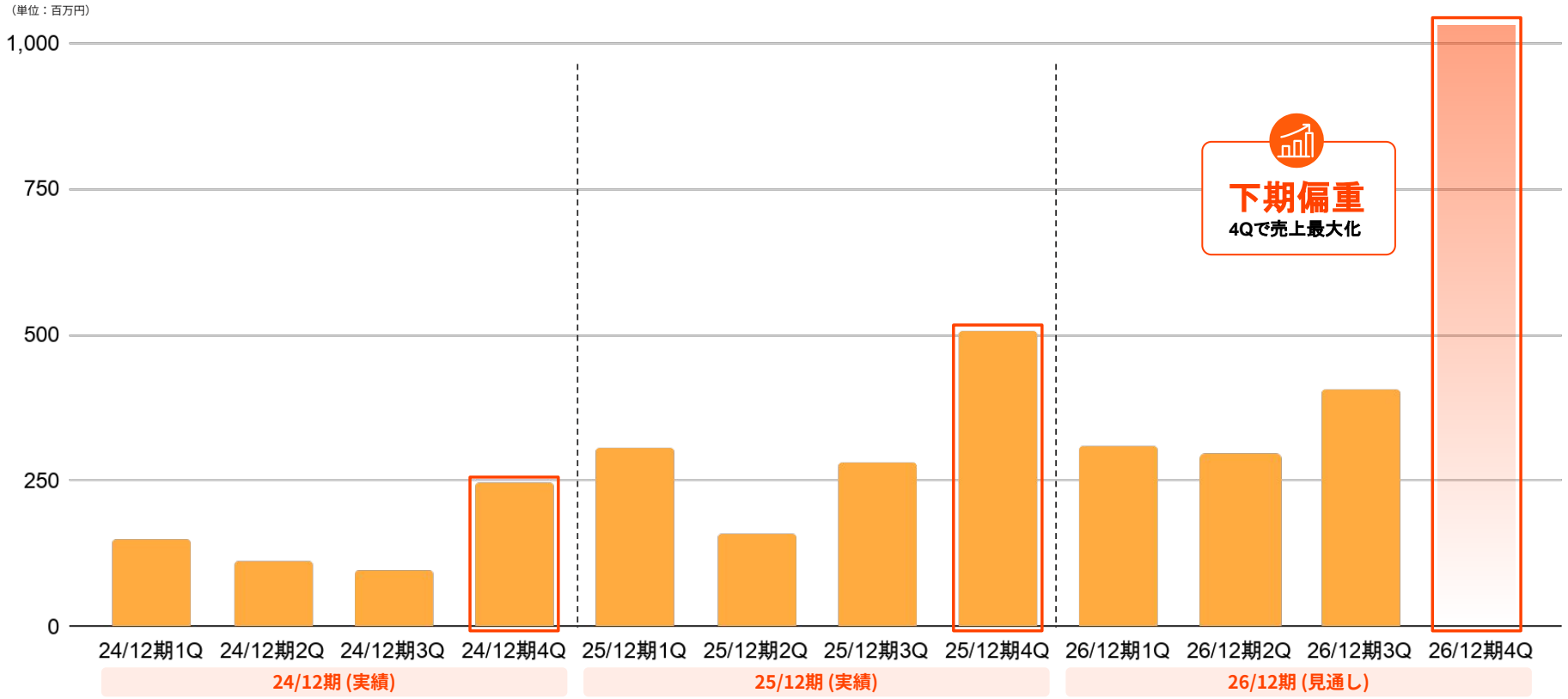
「GENIAC」の採択等により、受注残高は前年同期比455百万円増加の1,018百万円で着地。

継続顧客からの受注は例年下期に集中する傾向にあり、今期4Q及び来期以降の売上に向けて着実に積み上がり。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

売上高の偏重に関して

POINT 会社が成長フェーズにあり期末にかけて売上が増加傾向、2026年12月期も同様に下期偏重となる見通し。



©Hutzper Inc. all rights reserved.

2026年12月期 貸借対照表

現金及び預金は1,698百万円。納税・成長投資を経ても潤沢な手元流動性を維持。
自己資本比率は89%と、継続的な成長投資を支える強固な財務基盤を確保。

（単位：百万円）	25/12期	26/12期3Q	前期比
流動資産	2,305	2,334	+28
現金及び預金	1,895	1,698	▲196
売掛金及び契約資産	364	478	+114
その他	46	156	+110
固定資産	49	113	+63
資産合計	2,355	2,447	+92
流動負債	227	229	+2
買掛金	4	23	+18
1年以内返済予定の長期借入金	11	19	+8
未払法人税等	70	28	▲41
未払消費税等	67	2	▲64
その他	73	155	+81
固定負債	57	43	▲14
長期借入金	46	32	▲14
資産除去債務	10	10	+0
負債合計	284	272	▲11
純資産合計	2,070	2,174	+104
負債・純資産合計	2,355	2,447	+92

資産

積極的な成長投資により、現金及び預金は減少。売掛金及び契約資産、仕掛品は、4Qの検収に向けた案件進捗により増加。固定資産の増加は、組織拡大に伴う業務用PCの購入等によるもの。

負債

流動負債は、未払法人税等・未払消費税等が減少した一方、契約負債および賞与引当金の増加により、前期末並みで推移。借入金の返済により固定負債は減少。

純資産

新株予約権の行使および四半期純利益の計上により、純資産は増加。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

最新ニュース：TOPICS

現場向け安全管理AI「OwloX」



現場の危険をAIでリアルタイムに検知

現場向け安全管理AIプラットフォーム「OwloX（オウルクス）」の先行提供を開始。

建設・製造・プラント・物流などのあらゆる現場の不安全行動をAIが映像から検知し、通知・管理までを一気通貫で支援。

富士通の防衛装備庁委託研究に採択



製造業AI技術を、防衛領域の意思決定支援システム開発に応用

富士通の防衛装備庁委託研究における共創パートナーとして決定。

本プログラムは、富士通が防衛装備庁 防衛イノベーション科学技術研究所より受注した委託研究を背景に、2026年3月、日本初となる防衛分野のオープンイノベーションプログラムとして開始。

ローカルLLM「ラクラグ」



機密情報を社内で守りながら使える生成AI

今回のアップデートは、AIが社内資料を自ら検索し、表やグラフまで確かめ、データを集計し、Excel・Word・PowerPointなどのファイルとして仕上げるAIエージェント機能を追加し再構築。従来通り社内のサーバーで完結する構成を選べるため、機密情報をクラウドに送ることなく、自社のセキュリティ方針に沿って生成AIを利用可能。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

2 2026年12月期 業績予想

2026年12月期の予想と進捗について

1 2026年12月期 ３Q実績

2 2026年12月期 業績予想

3 競争力の源泉・成長戦略

4 Appendix

©Hutzper Inc. all rights reserved.

2026年12月期 通期売上高予想

通期業績予想は現時点で据え置き。4Qの売上高は受注残高1,018百万円に加え、ベースとなるライセンス収入の拡大及び継続受注案件の納品を予定。

通期業績予想 (単位:百万円)

↗ 2,000

３Q実績 (単位:百万円)

968 進捗率 (48.4%)

POINT 通期計画達成に向けた見通し

① 強固な受注残

「GENIAC」等の大型案件と、既存顧客の継続受注で、前年同期比+81%で着地。当期納品予定分が順次、売上へ貢献する見込み。

② 安定したストック収益

スキルパズル等の新サービスも含め、受注残とは別にサブスクリプション等による安定した見込みライセンス収入がベースを下支え。

③ 下期偏重の季節性

例年売上高の大半が下期に集中、特に第4Qが40%以上占める傾向にあり、今期はさらに下期偏重が強まった着地となる見通し。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

予算進捗

販管費の進捗率は69%と投資計画は予定通り進捗。4Qの業績に寄与する見込み。4Qも人件費を中心に当期の業績達成及び翌期以降の成長性維持のための投資を継続。

（単位：百万円）	2026年12月期 3Q実績	2026年12月期	予算進捗
売上高	968	2,000	48%
売上原価	285	687	41%
売上総利益	682	1,313	52%
└売上総利益率	71%	66%	ー
販売費及び一般管理費	570	832	69%
営業利益	112	480	23%
└営業利益率	12%	24%	ー
経常利益	122	481	25%
当期純利益	82	347	24%

売上高

継続顧客売上高・ライセンス収入ともにバランスよく積み上げ、3Q実績は予想通りに進捗。4Qに「GENIAC」をはじめとした大型案件の納品を控えており、通期業績達成に向けて継続して注力。

売上原価・売上総利益

案件構成の平準化により、売上総利益率は想定通りに着地見込み。

販管費・営業利益

人件費を中心に成長投資を実施。4Qも積極的な投資を継続するが、営業利益は想定通り増益見込み。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

2026年12月期 業績予想

公募増資で調達した資金をもとに、中長期の事業成長のための積極的な投資を見込む。
既存プロダクトの拡販等により売上高の成長を継続し、2026年12月期は増収増益計画。

（単位：百万円）	2025年12月期	2026年12月期	増減額	増減率
売上高	1,256	2,000	+744	+59%
売上原価	439	687	+247	+56%
売上総利益	816	1,313	+496	+61%
└売上総利益率	65%	66%	–	+1pt
販売費及び一般管理費	420	832	+412	+98%
営業利益	396	480	+84	+21%
└営業利益率	32%	24%	–	▲8pt
経常利益	385	481	+96	+25%
当期純利益	304	347	+43	+14%

売上高・売上総利益

業務提携の推進等により、新規案件の獲得に注力。また、継続顧客へのアプローチも継続することで売上高は2,000百万円を見込む。売上総利益率は同水準を維持。

営業利益・経常利益

増収の一方で、中長期の事業成長のための投資（人件費、研究開発費、その他諸経費等）による費用増加があるため、営業利益は480百万円（+84百万円）、営業利益率は24%を見込む（▲8pt）。

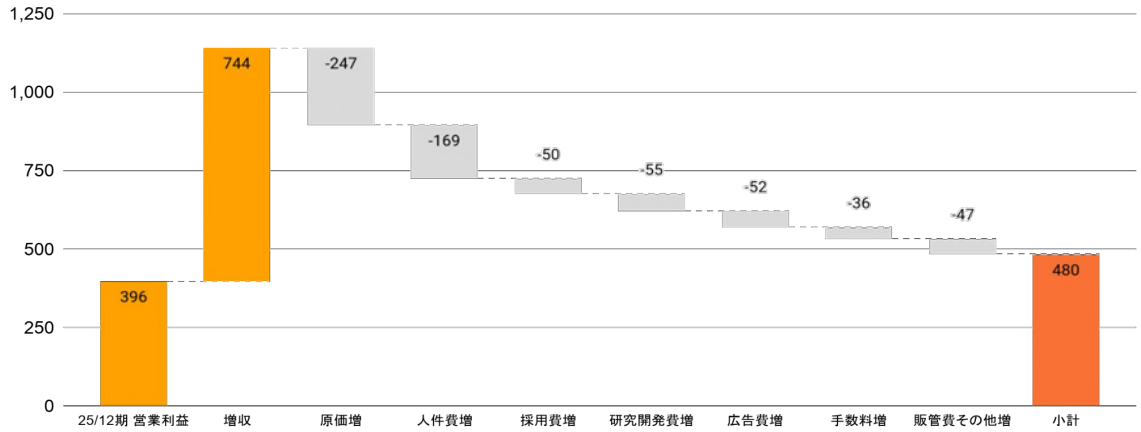
当期純利益

前期に繰越欠損金を解消したことにより、法人税額が増加すると想定し、当期純利益は347百万円を見込む。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

2026年12月期 業績予想の営業利益の主な増減内訳

（単位：百万円）



（単位：百万円）	2025年12月期	2026年12月期	前期比	主な要因
人件費	232	402	+169	従業員の増加
採用費	6	57	+50	従業員の増加
研究開発費	35	91	+55	新規プロダクトの開発
広告費	14	66	+52	展示会出展
支払手数料	58	95	+36	従業員の増加
その他経費	72	119	+47	拠点の移転・設立に伴う賃料・減価償却費等
販売費及び一般管理費 合計	**420**	**832**	**+412**	

売上総利益

744百万円の増収に対して売上原価の増加は247百万円となり売上総利益は496百万円の増加。

販売費及び一般管理費

公募増資を資金に積極的な成長投資を予定。継続的な人材採用に加え、新規プロダクトの開発や認知度向上・市場拡大のための展示会出展等を計画。
その他経費では、拠点の移転・設立等に伴い賃料・減価償却費等が増加。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

3 競争力の源泉・成長戦略

フツパーの競争力・今後の成長戦略について

1 2026年12月期 ３Q実績

2 2026年12月期 業績予想

3 競争力の源泉・成長戦略

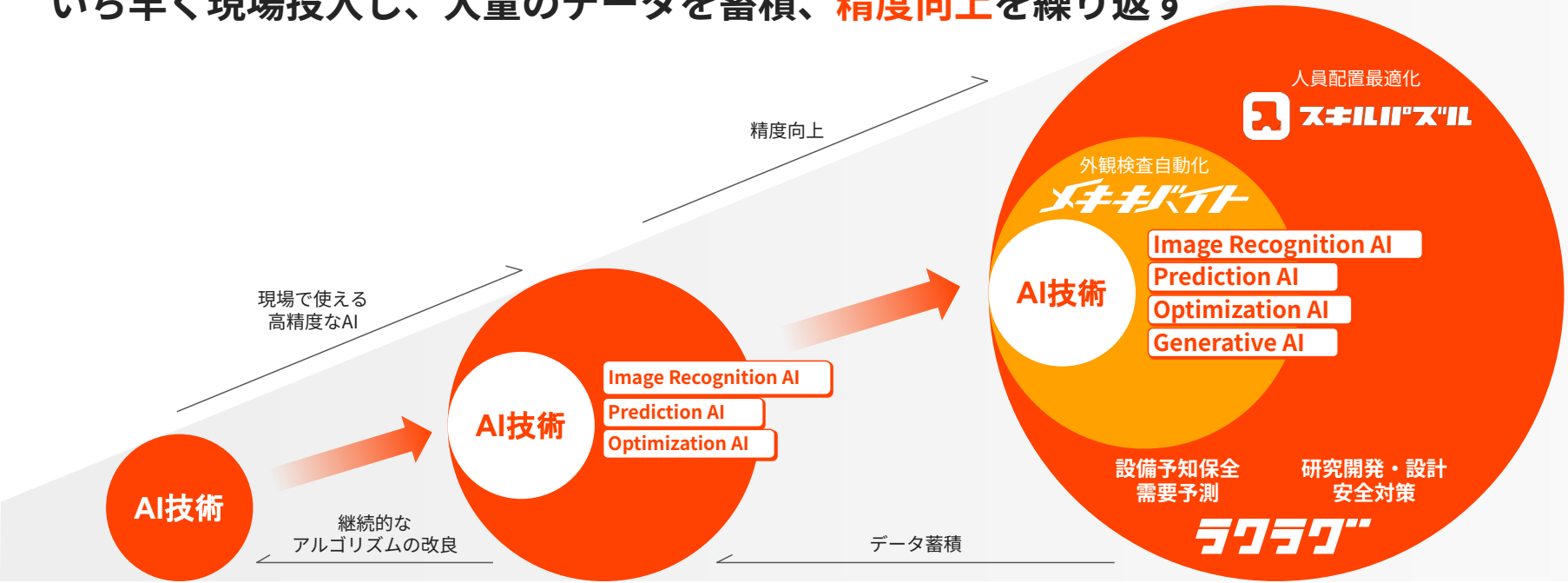
4 Appendix

©Hutzper Inc. all rights reserved.

Hutzper

競争力の源泉

コアテクノロジーは、高品質なAI
いち早く現場投入し、大量のデータを蓄積、精度向上を繰り返す



コア技術
（≒ 豊富なテクノロジー人材）

AIアルゴリズムモジュール
（高精度）

汎用パッケージ
（高品質・低価格）

※ Image Recognition AI：画像認識AI、Prediction AI：予測AI、Optimization AI：最適化AI、Generative AI：生成AI

©Hutzper Inc. all rights reserved.

現場に根ざしたAI導入力

必要なハード～ソフトまで、製造現場の課題を**ワンストップで解決できる**AIソリューションを提供
現場のノウハウ、スケール可能なプロダクト、膨大なデータに裏打ちされた**AI現場実装力が強み**

AI学習用のデータ収集に関する仕組みで特許取得

コアテクノロジー

現場で使える高価値なAI

メキキバイト

可視化 センサ・ハードウェア	→	**光学設計** **搬送・排除**
デジタル化 ソフトウェア・システム	→	**現場アプリ** **ルールベース**
IoT化 クラウド・データベース	→	**Webアプリ** **通信・API**
AI化 アルゴリズム・自律制御	→	**AIモデル** **GUI・再学習**

フツパーの強み

ノウハウ
製造現場にAI技術を導入するためのノウハウ
マニュアルにない≒ネット上にない情報と経験の保有

プロダクト
AI技術を道具として活用してもらうためのプロダクト
特定用途に特化しユーザーへの提供価値を集約・最大化

データ
最大限にAI技術の価値を高めるフィジカルなデータ
インターネットの外の領域にある膨大なデータを蓄積

※ GUI（Graphical User Interface）とは、コンピュータを操作する際に、視覚的な要素を使い直感的に操作できるインターフェース

©Hutzper Inc. all rights reserved.

テクノロジー人材

現場の課題解決に必要な技術を網羅

エンジニアが正社員全体の約6割を占め、**高い専門性を有したエンジニア**が各領域において在籍
現場の課題解決に必要な技術を網羅し、**総合的なサービス提供**ができることが当社独自の強み

約6割がエンジニア

組織名/職種	役割	保有技術	人員数（人）
AIビジョン事業部、CS部/PM	顧客の技術面の課題抽出及びプロジェクト全体のマネジメント、顧客満足度の向上、サービスの改善	製造工程、品質管理、生産管理に関する知見	14
AIビジョン事業部 /ソフトウェア・プロダクト	Hutzper Insightの開発及び製造現場で使用するソフトウェアの開発	プログラミング、Webサービス開発、デザイン	12
AIビジョン事業部 /ハードウェア	コンベアや排除機構等の製造ラインの設計・組立・設置	ハードウェア設計、電気回路構築	9
AIビジョン事業部 /AI・光学	顧客の製造現場、製造物に対応した光学設計からAI構築及び学習	光学設計、AI構築	8
エンタープライズAI事業部、建設・物流ソリューション事業部/DS	カスタムHutzperAIの提供、AI技術の調査・研究開発	AIリサーチ、データサイエンス、AIを活用したコンサルティング	7
エンタープライズAI事業部、建設・物流ソリューション事業部、海外事業部/プロダクト	スキルパズルの開発及びWebサービスの個別開発	Webサービス開発	6

※ 2026年9月30日時点の人員構成を記載しております。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

競争優位性

製造業のようなリアルな現場をもつ産業に対して”高度なAIソリューションを提供”



POINT

既存のAIベンダーで当社のように特定業界に特化し、プロダクトを有して課題解決に取り組んでいる会社は少数。

特に外観検査領域においては、導入して終わりのAIセンサ及びAI機能を持つ装置を提供している会社は存在するが、当社のようにクラウド経由で継続的な再学習を支援し、大量の現場データを保有する会社はないと思われる。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

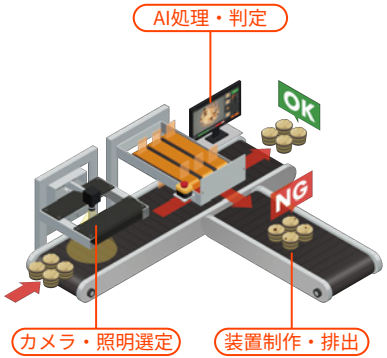
Hutzper

生成AI進化下における当社の競争優位性

”一気通貫の技術統合力”でフィジカルAI時代に求められる現場価値創出を実現

生成AIの進化（Anthropic Shock）により、AIモデル単体の提供や汎用SaaSは差別化が難化する一方、**AI実装を担うSI(※1)ニーズは拡大。**
当社が注力する**フィジカル領域**では、**AI・ソフト・ハードの技術統合が不可欠**で、**需要拡大に対し実装まで担えるプレイヤーは限定的。**

生成AIでは代替困難な“現場統合型AI”の構造（メキキバイト）



光学設計 搬送・排除	ネット上やマニュアルにはない情報や高度な現場作業が必要、生成AIで代替困難な領域
現場アプリ ルールベース	24時間365日安定稼働が求められる、ハード連携+リアルタイム処理が必要な組み込み系ソフト、リプレイスコスト大
Webアプリ 通信・API	生成AI活用によって開発効率化 プロダクトに蓄積された現場起点のデータは高い参入障壁
AIモデル GUI・再学習	汎用性を求めた一般タスクと異なり、特定タスクに特化した高精度と高速処理を有したモデル、チューニングが必要

AI価値創出のレイヤー構造と当社のポジション

インフラレイヤー（計算資源・基盤）
クラウド / GPU / ネットワーク

ファウンデーションモデルレイヤー（知能）
LLM / VLM(※2) / 音声モデル

アプリケーションレイヤー（機能）
SaaS / デベロッパーツール / UI

業務実装レイヤー（適用）
SI / コンサル / AIベンダー

フィジカルAIレイヤー（統合）
当社（現場統合型AI）
フィジカルAI企業 / FA機器メーカー / ロボティクス企業
データ取得、制御、システム統合（AI×ソフト×ハード）

リアル現場（価値創出）
工場 / 設備 / 作業

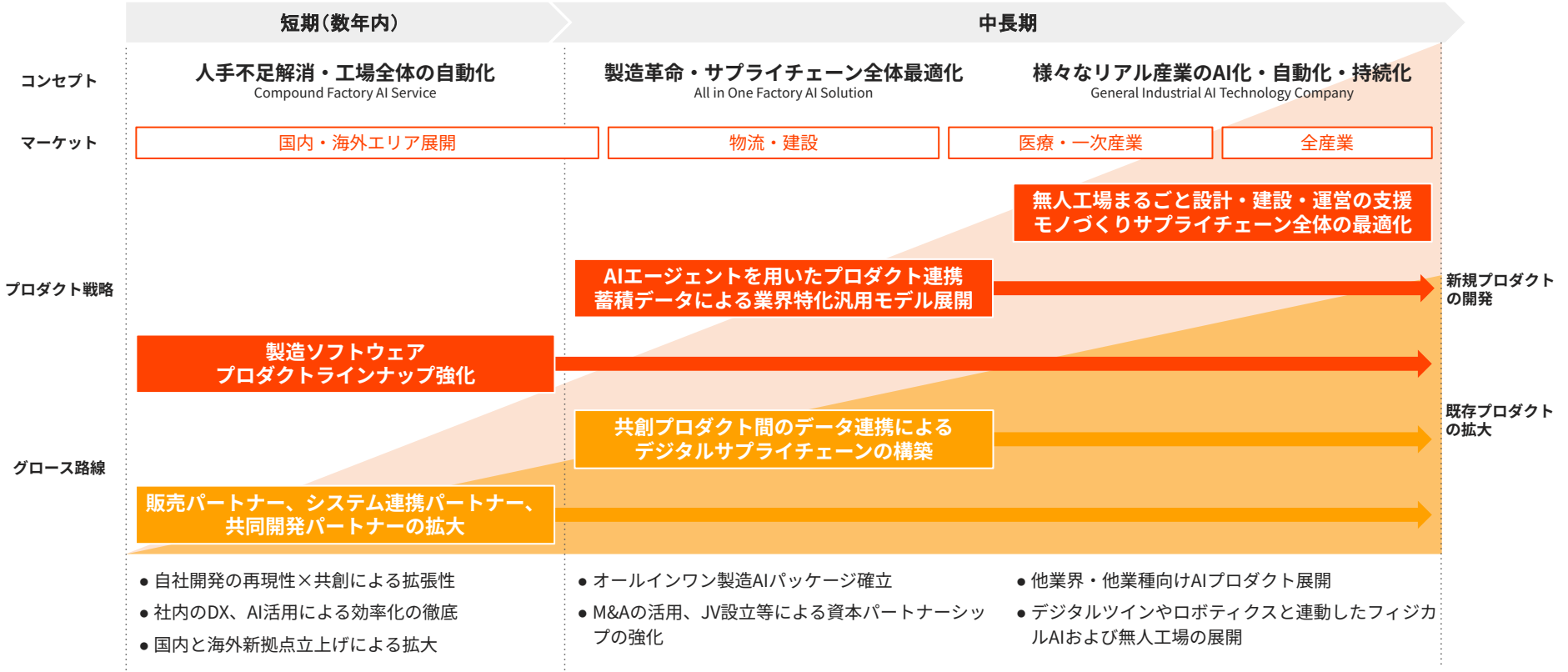
※1 SI（System Integration）：ソフトウェアやハードウェアを組み合わせ、要件定義から実装まで統合的にシステムを提供すること。
※2 VLM（Vision Language Model）：画像や動画（Vision）とテキスト（Language）を同時に理解・処理できるAI技術。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

Hutzper

成長戦略

短期的にはプロダクトの強化・開発、複数拠点展開やパートナーを活用した販路拡大を行っていく。その後は、AIエージェントによるプロダクト連携や蓄積されたデータを活用したAIモデル開発等によりサプライチェーン全体の最適化を進める計画。



※当ページに記載の短期及び中長期の姿は、達成を保証するものではありません

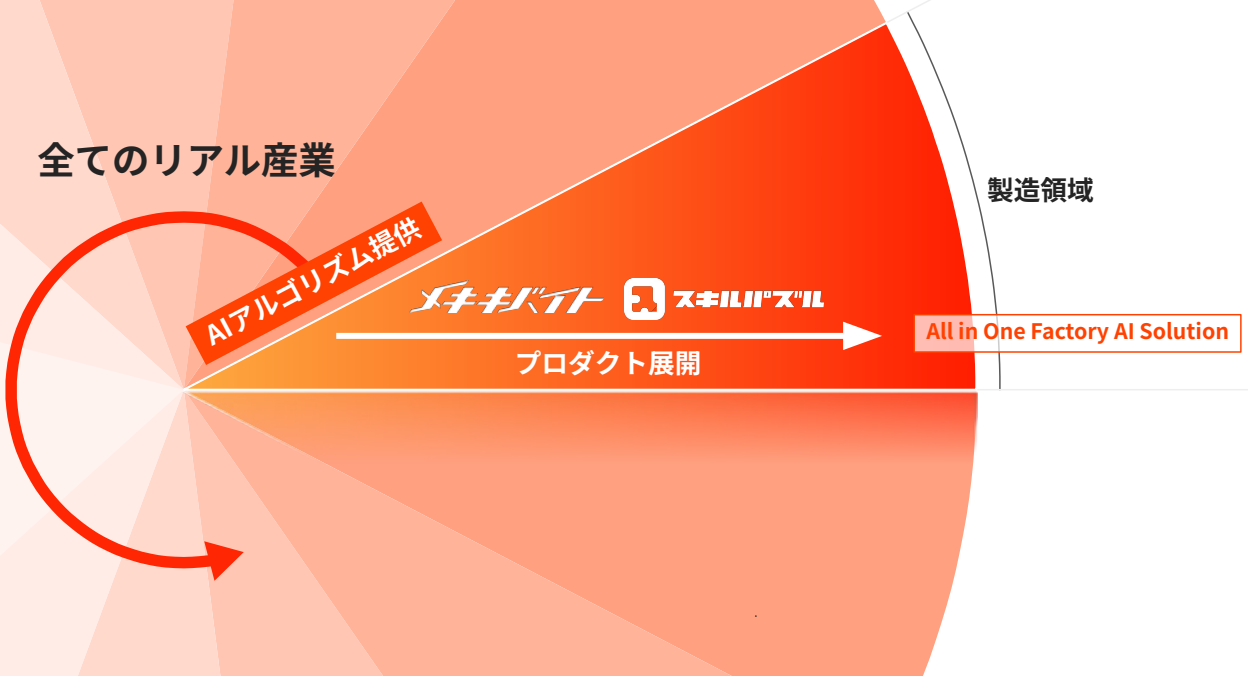
©Hutzper Inc. all rights reserved.

Hutzper

成長戦略の二軸展開

プロダクト展開は製造領域に特化、AI技術提供は業種問わずサポート

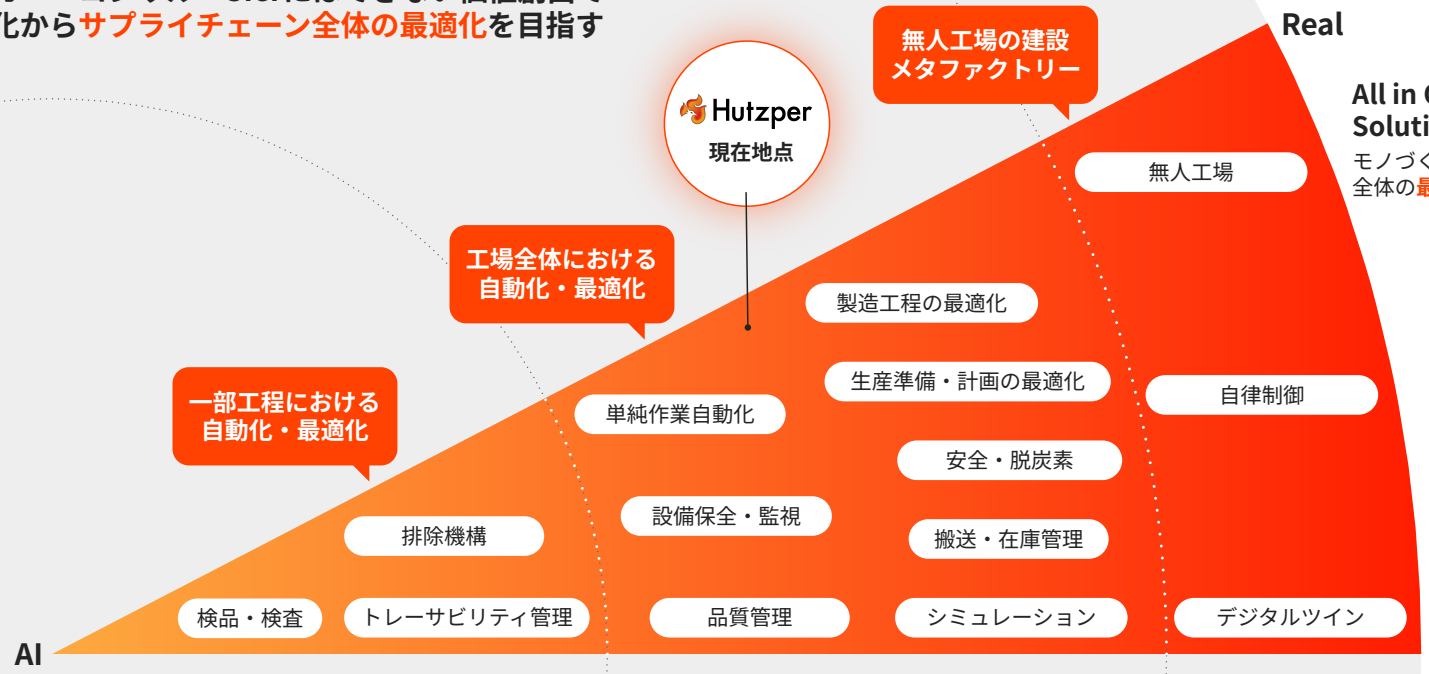
製造現場で培ったノウハウや知見、技術・技能だけでなく、モノづくりの誇りや
考え方、概念を継承し、他業界の改善に活かすデータと
AIの仕組みで次世代に翻訳し、モノづくりの広義化を目指す。



©Hutzper Inc. all rights reserved.

製造領域ロードマップ

ハード＋ソフトでリアルな課題解決にこだわり
単体のメーカー・コンサル・SIerにはできない価値創出で
部分の自動化から<u>サプライチェーン全体の最適化</u>を目指す



All in One Factory AI Solution

モノづくりサプライチェーン
全体の**最適化・持続化**

©Hutzper Inc. all rights reserved.

Hutzper

オールインワン製造AIプラットフォーム

サプライチェーン全体の最適化を実現できるよう、既存領域だけでなく、製造分野においてさらなる事業展開を進めていく。

既に提供済みの領域
今後サービス提供を検討する領域



AIエージェント

現場作業者や管理者が自然言語でシステムに問い合わせ・指示をおこない、AIが対話形式で提案・応答する。
AIエージェントが各個別AIソリューションを横断的に司り、設定変更や問い合わせに対して最適解を自動的に実行・回答。

個別AIソリューション

AIエージェントによって適宜活用され、分析結果、実行状況をAIエージェントにフィードバック

設備制御AI

製造設備のパラメータ(温度、圧力、速度など)をリアルタイムに最適化。
AIが品質データと稼働データの相関を学習し、自動で制御パラメータを調整する“セルフチューニング”を実現。

予知保全AI

稼働データや振動・温度などのセンサーデータ、保守履歴から設備故障の予兆を検知。
故障確率や推定原因、残存寿命などの指標を算出し、最適なメンテナンススケジュールを提案。

生産スケジューラAI

受注情報、在庫状況、ライン能力、設備状態、シフト情報をもとに生産計画を自動作成。
需要予測AIと連携し、変動する需要に合わせたダイナミックなスケジューリングを実行。

シフト/配置AI

スキルパズル

作業者の技能熟度・作業履歴、労働時間規制や健康管理指標などを踏まえ、最適なシフトを自動生成。
欠員発生時のバックアップ配置や配置計画も自動化。

在庫/SCM AI

需要予測AIと連携して、在庫量、リードタイム、部品発注の最適化。
原材料や部品のサプライチェーン全体を見渡し、コスト削減やリードタイム短縮に寄与。

搬送AI

ロボットアームやAGV/AMR(自律走行搬送ロボット)、ドローンなどと連携し、部品供給・製品搬送を自動化。
混雑状況や最適ルートをAIがリアルタイムに判断し、工程間物流の無駄を排除。

検品/品管AI

メキキバイト

画像検査システムやセンサーを用いて外観検査・寸法検査を自動化。
AIが不良品の種別や原因を分類し、即時にライン調整することで不良率を低減。

デジタルツインAI

工場設備・ライン構成をバーチャル空間上に再現し、運転シミュレーションやレイアウト変更の効果検証をAIが実行。
新規設備の導入効果や工程改善の最適解を事前に予測。

データ基盤

工場設備・IoTデバイス・管理システムなどからデータを取得

データレイク / DWH

工場内の**リアルタイムデータ**や**管理データ**を統合・蓄積

- **稼働/状態監視**（リアルタイムデータ）
- **管理データ**（生産計画/在庫/点検記録/勤怠等）
- **検査/監視**（画像/動画）


PLC


IoT


MES/
SCADA


MRP/ERP


労務/保守管理システム等


カメラ


ドローン/
AGV

※当ページに記載の個別AIソリューションの展開は、達成を保証するものではありません

SNSを活用したIR情報の発信

株主・投資家の皆さまに、当社に対する理解をより一層深めていただきたく、SNSを活用してIR情報を発信しています。

X

代表 大西洋

https://x.com/taiseiy0u

IR担当

https://x.com/iwaoka_hutzper

代表大西のメッセージや当社の様々な最新ニュースを速報としてお届けするチャンネル。

note

https://note.com/hutzper_ir

決算短信や決算説明資料以外にも、最新ニュースや事業の裏側などを分かりやすくお届けするチャンネル。

YouTube

https://www.youtube.com/@hutzper_ir

決算説明会を中心に動画を通してお届けする動画専用チャンネル。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

4 Appendix

その他の参考資料

1 2026年12月期 ３Q実績

2 2026年12月期 業績予想

3 競争力の源泉・成長戦略

4 Appendix

©Hutzper Inc. all rights reserved.

MISSION

最新テクノロジーを確かな労働力に

会社情報

Hutzper

社名	株式会社フツパー（英文名：Hutzper Inc.）
創業日	2020年4月1日
資本金	8.3億円（資本剰余金含む 20.1億円）
代表者	大西 洋
社員数	125名（アルバイト・インターン含む ※2026.9.30時点）
事業概要	製造業向けAIサービスの提供
事務所	大阪本社：大阪府大阪市淀川区西中島1-11-16 関東支社：東京都千代田区一番町19 名古屋支社：愛知県名古屋市昭和区鶴舞1-2-32 フィジカルAIラボ：大阪府大阪市東淀川区下新庄4-5-41 タイ駐在事務所：Ramaland Bldg. #75, Bang Rak, Bangkok 10500, Thailand
取得資格	ISO/IEC 27001:2022 および JIS Q 27001:2023（ISMS認証） 認証登録番号：IS 811223 認証事業所　：大阪本社および関東支社 認証取得日　：2024年10月21日

©Hutzper Inc. all rights reserved.

創業ストーリー

製造業は**国内GDP2割**を占める基幹産業
その最大課題である**人手不足**を
テクノロジーで解決

創業当初の課題感



実社会へのAI導入が進まない
大半がPoC止まり、価格も高額

製造業の人手不足が深刻
人がこない、職人は高齢化

地方、中小企業でDXが進まない
サプライチェーンの維持が困難

世の中的にはAI技術が注目される中で
実際の現場にはほとんど導入されていない

全ての製造現場で使えるAIサービス（メキキバイト）

いつでも解約可能な月額課金制



PoCで終わらず、**費用対効果**が見込める

製造業特化のワンストップ支援



必要な**ハード**と**ソフト**に全て対応

現場とクラウドのハイブリッド



機械的制御は現場完結の**エッジAI**、人が取り扱う情報は**クラウド**提供

モノづくりシステムのこれまで

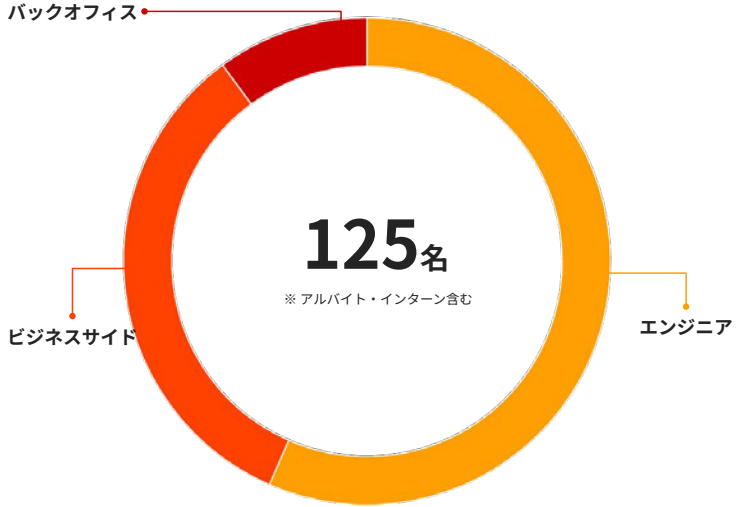
蒸気	機械化	電力	大量生産	コンピュータ	自動化	AI・IoT	自律化・最適化
	蒸気機関・紡績機		リレー制御・コンベア		PLC・NC機械・MES		AI・クラウド・ロボット

©Hutzper Inc. all rights reserved.

メンバー紹介

在籍メンバー

(2026.9.30時点)



- AIエンジニア
- 画像処理エンジニア
- 光学エンジニア
- 電気回路/制御エンジニア (PLC等)
- ハードウェア設計エンジニア
- データサイエンティスト
- 現場DX PJマネージャー
- 品質管理部出身メンバー
- 生産技術部出身メンバー
- 戦略コンサルタント

経営メンバー



代表取締役社長CEO

大西 洋

兵庫県出身。新卒で日東電工に入社。その後イスラエルで起業失敗し、帰国後、工場向けAI/IoTベンチャーの事業開発グループリーダーを経て、弊社設立。

MENSA会員。ソフトバンクアカデミア外部12期生。



取締役副社長COO

黒瀬 康太

大分県出身。在学中には自動車プレス工場での勤務経験あり。前職は日本IBMにて多数のAI導入案件に従事。

お客様満足度調査にて3期連続の最高評価を受賞。後に共同創業。



取締役CTO

弓場 一輝

広島県出身。広島大学大学院先端物質科学研究科修了。研究内容はゲノム編集。新卒で共同創業。NVIDIA「GTC 2020」登壇実績や総務省の案件実績あり。

「Startup CTO of the year 2023」ファイナリスト選出。

「Forbes 30 Under 30 Asia 2025」選出。



取締役CFO兼管理本部長

髙木 真一郎

京都府出身。在学中に公認会計士試験に合格、新卒であずさ監査法人へ入所。約8年間勤務した後、事業会社にて執行役員経理マネージャーとしてマザーズ上場に貢献。2022年1月よりフツパーに参画。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

メンバー紹介

在籍メンバー

執行役員 / AIビジョン事業部 事業部長

山本 泰弘

新卒で画像検査装置メーカーに入社。

その後製造業に転職、海外拠点でノウハウを伝えながら外観検査自動化チームで勤務、外観検査だけでなく生産管理やIoTシステムの国内外での開発導入に従事、2022年1月よりフツパーに参画。

執行役員 / エンタープライズAI事業部 事業部長

杉山 琢哉

東京大学工学部機械工学科卒業。2005年にアクセンチュアに入社。戦略コンサルティング部門でシニアマネージャーとして製造・小売業向けに成長戦略、新規事業、デジタル戦略等を手掛ける。

2018年よりTBMにて新規事業やリサイクルプラントの立ち上げ業務に従事。
2023年12月よりフツパーに参画。

エンタープライズAI事業部 開発部 部長 / テクノキング・オブ・フツパー

今井 亮太

大阪大学基礎工学部システム科学科卒業後、同大学修士課程を修了。 画像生成モデルを用いた自身の研究をコア技術とした大学発ベンチャーの発足に携わる。

新卒でエムスリーにデータサイエンティストとして入社、製薬マーケティングにおけるデータ分析等に従事。 2022年3月よりフツパーに参画。

技術顧問 / カーネギーメロン大学 創始者記念全学教授

金出 武雄

1974年に京都大学 大学院工学研究科 博士課程修了。京都大学助教授を経て、カーネギーメロン大学教授、ロボット研究所所長、 現在はカーネギーメロン大学 創始者記念全学教授。

産業技術総合研究所 名誉フェロー、京都大学高等研究院 招聘特別教授。これまでWeRide.ai、Mujin、TELEXISTENCE等で技術顧問。

社外取締役 / 監査等委員

社外取締役

渋谷 順

㈱スマートバリュー取締役兼代表執行役社長。㈱菱和商工に入社後、㈱堺電機製作所へ入社、2003年より同社の代表取締役。町工場からITサービス業へ事業転換を図り、2015年に株式上場。オープンガバメントやモビリティIoT領域、さらに公共財のプロフィットモデルやスポーツ×ITの事業化等を手掛ける。

社外取締役（常勤監査等委員）

釜谷 芳充

公認会計士。2006年にEY新日本有限責任監査法人へ入所。

2021年に退所後、非常勤監査役として当社に参画、2023年4月より常勤監査役に就任。

社外取締役（監査等委員）

廣瀬 雄二郎

新卒でNTTへ入社、NTTソルマーレ㈱の代表取締役として新事業創出に従事。以降はNTT西日本の常務取締役やNTTビジネスソリューションズ㈱の代表取締役を経て、日本IBMとの合弁会社である日本情報通信㈱の代表取締役に就任。

その後、NTT西日本常勤監査役監査役会議長を2022年6月まで務める。

社外取締役（監査等委員）

氏家 真紀子

弁護士。2011年に梅ヶ枝中央法律事務所に入所。2018年にパートナー就任。

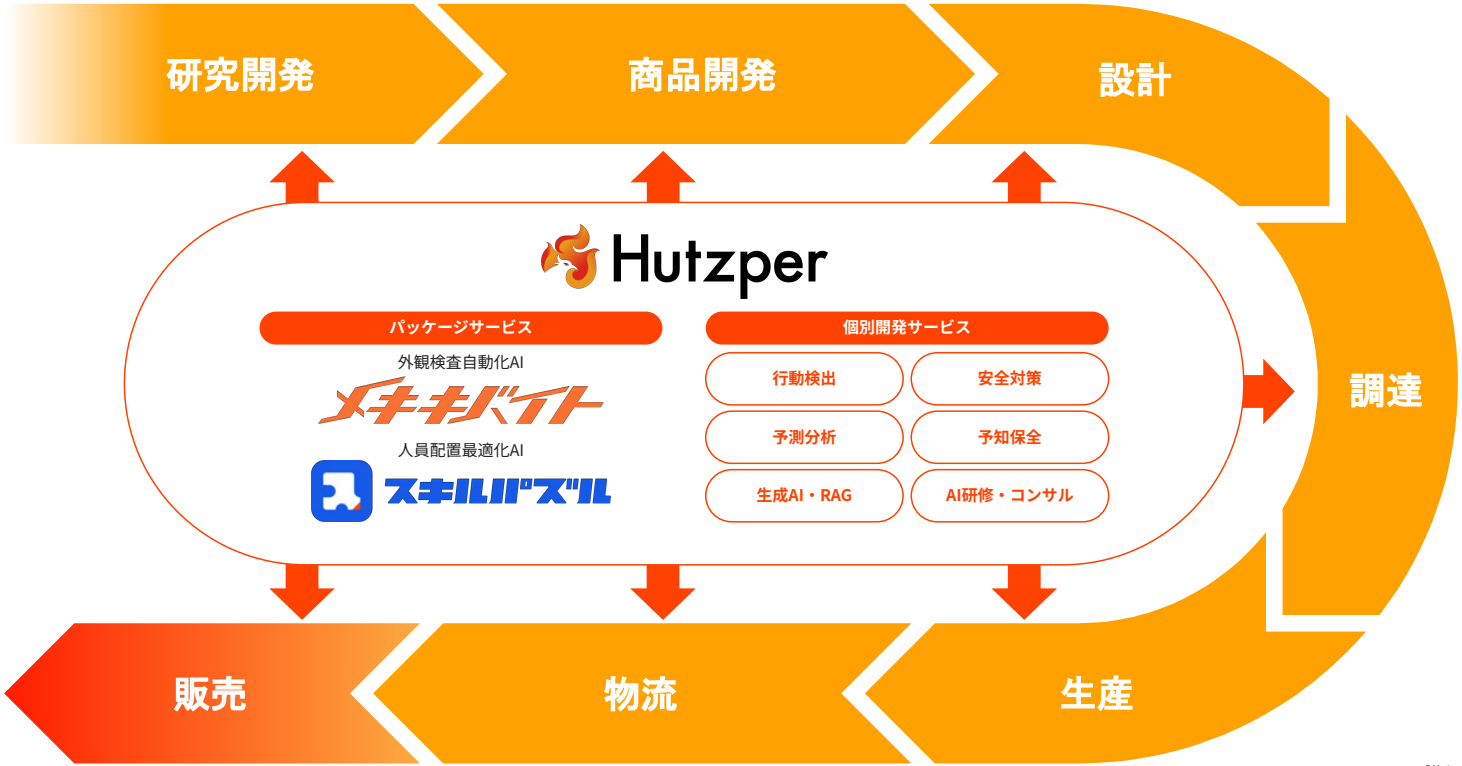
M&A、金融法務、株式に関連する紛争、資本業務提携や公開買付での意見表明、買収防衛策の導入など、幅広い企業法務の案件を取り扱う。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

Hutzper

支援領域

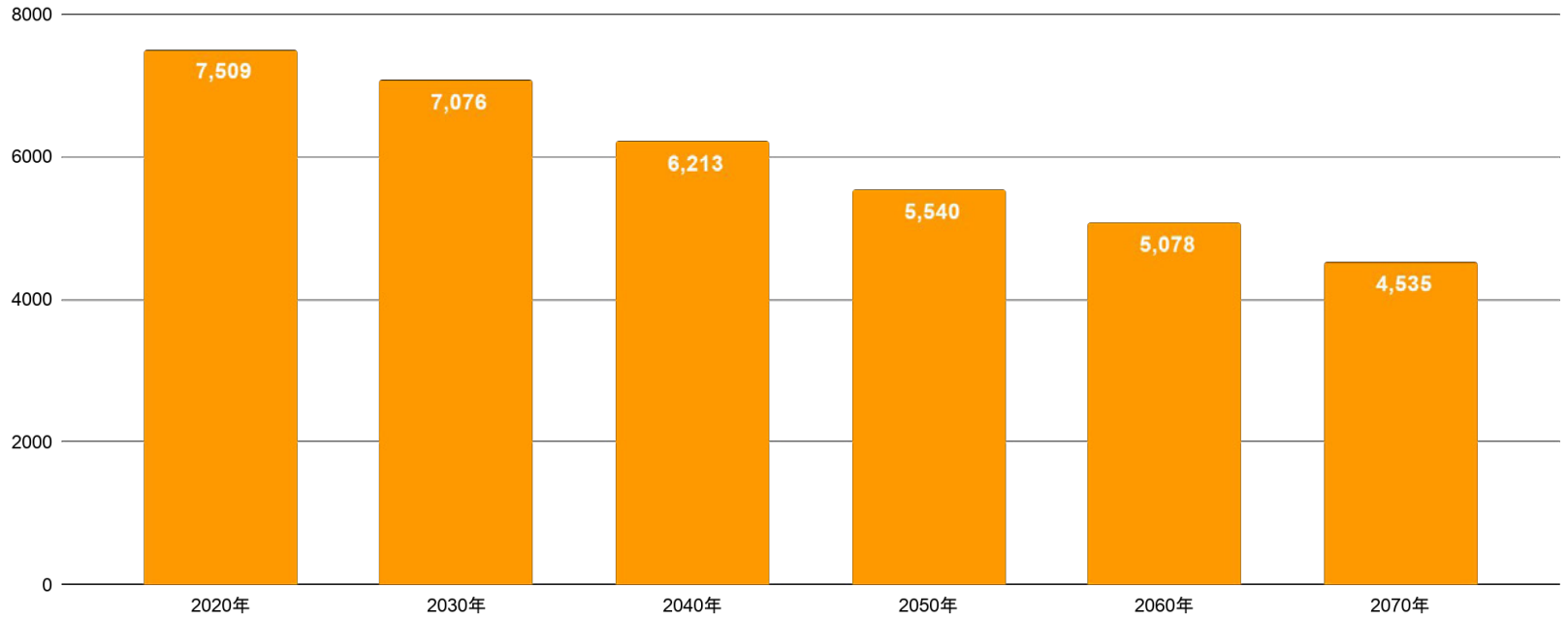
パッケージサービスは生産領域を中心に導入、個別開発で周辺領域のニーズにも対応
製造業DXにおける個別最適から、サプライチェーン全体最適までを包括的にサポート



©Hutzper Inc. all rights reserved.

少子高齢化により日本の生産人口は減少の一途をたどっており、労働力不足が深刻化

（単位：万人）



（出所）内閣府「令和７年版高齢社会白書（全体版）」

©Hutzper Inc. all rights reserved.

対象市場

製造業は国内最大の産業であり、製造業の人手不足の課題をテクノロジーで解決

企業社数	売上高
34万社	387兆円

従業者数
880万人

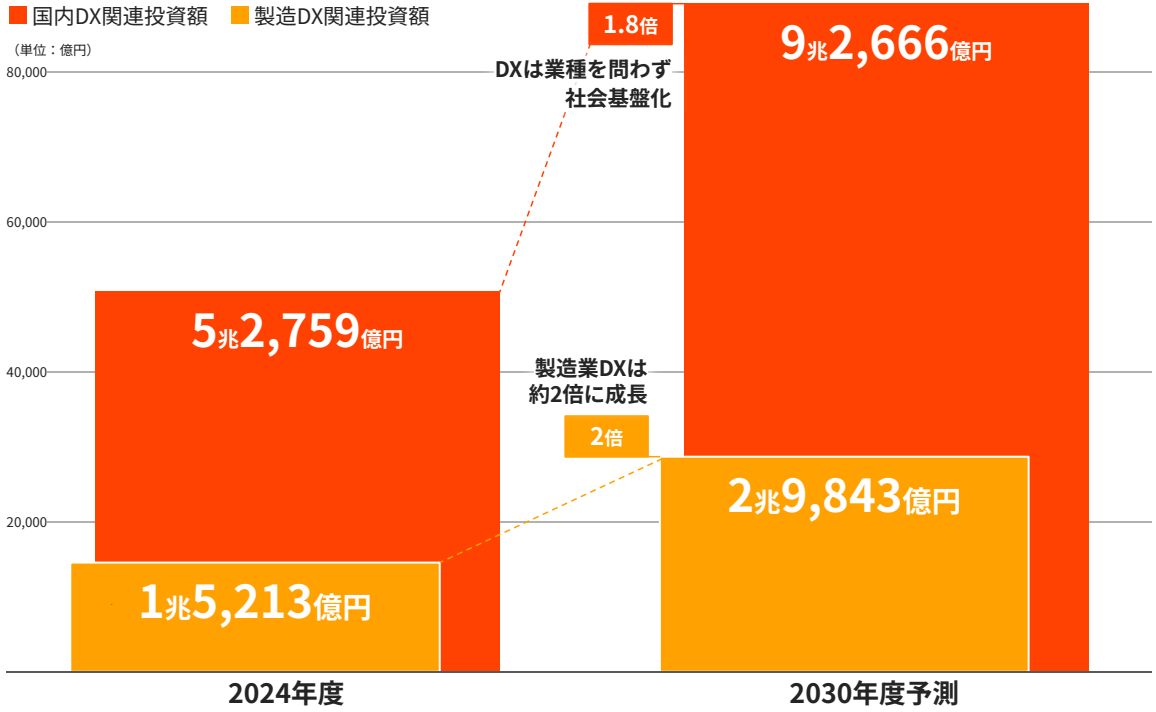
（出所）総務省統計局「令和3年経済センサス- 活動調査」

©Hutzper Inc. all rights reserved.

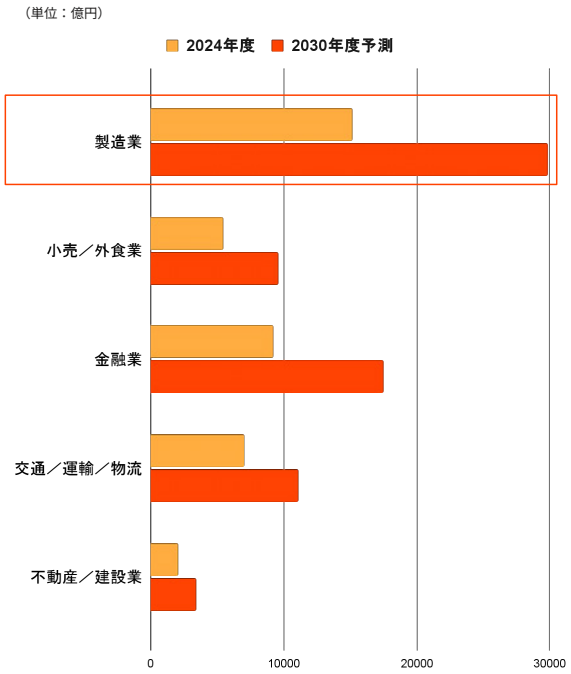
DX市場関連投資額

国内DX市場関連投資額は9兆2,666億円規模へ拡大、2030年には約1.8倍成長見込み

国内DX関連投資額



業種別 2024年度比較 約2倍増加予測



出所：富士キメラ総研「2025 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望 市場編」https://www.fcr.co.jp/pr/25043.htm
※ 外部情報源による予測数値に基づき作成したものであり、期待通りに推移することを保証するものではありません。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

主要取引先一覧

POINT 製造業を中心に特定の業界に偏ることなく、中小から大手まで幅広い顧客層に対してサービス提供ができている。

食品製造

大黒 / SUZETTE / food / nissui group / フランソア / ファイン FINE JAPAN / フジッコ / 吉田ピーナツ食品株式会社

化学・繊維・医薬品

SANYO 山陽製紙株式会社 / 錦城護謨株式会社 KINJO RUBBER CO.,LTD. / Nitto Innovation for Customers / TAIYO YUSHI / ロートは、ハートだ。 ROHTO / movika

自動車・機械

エクセレント株式会社 / KOEI / Kawasaki Powering your potential / SunMax / 技 NWK NANIWAKOUSAKUSHO / TOYOTA / TECHPORT / NITTOU / MITANI SEISAKUSHO

鉄鋼・金属

NK工業株式会社 / ナミテイ株式会社 / JFE 条鋼 株式会社 / 住友商事グローバルメタルズ株式会社

電機・電子部品

COLOR KINETICS JAPAN / CCS / clc 長州産業 / CEW / TOSHIBA

運輸・物流

ANA Inspiration of JAPAN / Osaka Metro / SgH SAGAWA / 物流業の枠を超える 郵全株式会社

通信・インフラ・その他

NTT西日本 / SoftBank / Tomorrow, Together KDDI / あなたの「いつものつなぐ」を創る。 エネコム / ENEOS / Iwatani / Marubeni / ORIX

2025.12.31時点｜ロゴ掲載許可企業のみ抜粋

©Hutzper Inc. all rights reserved.

サービス紹介

画像認識AIサービス	分析AIサービス	その他AIサービス		
メキキバイト	カスタムHutzper AI	スキルパズル	ラクラグ	リアラボAI



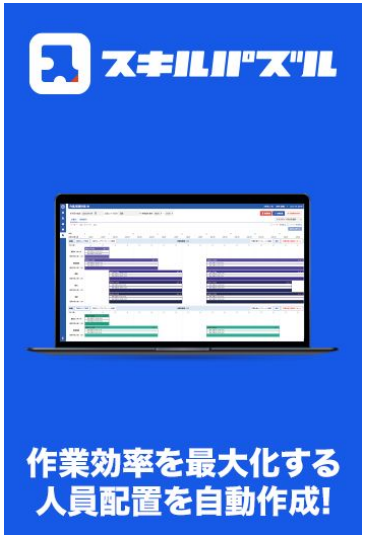
高精度AIの開発はもちろん
撮像や排除までサポート

製造業の外観検査をAIで自動化。撮影→検出→排除→品質管理まで一気通貫で対応し、検査工程の人手不足と品質バラツキの課題を解決。すでに食品・電子部品など複数業界に導入実績あり。



“業務理解”×“最新テクノロジー”で
費用対効果にこだわった伴走支援

最新のAI技術(RAG・生成AI等)を活用し、データ分析からアクション設計まで支援。顧客ごとの業務フローに深く入り込み、事業課題に対して具体的な改善施策を構築。



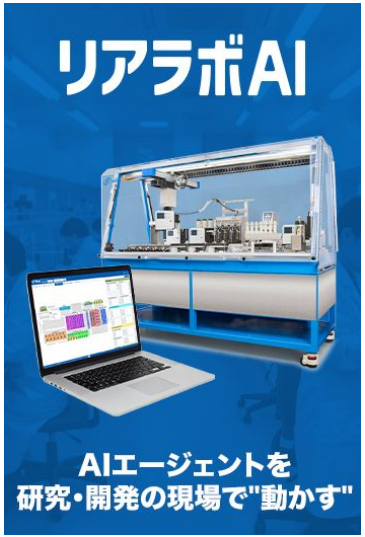
人的相性や作業負荷まで考慮し
現場が納得感のある計画を実現

工数・スキル・勤怠状況をもとに、最適な人員配置案をAIが即座に提案。工場現場での人材不足と配置の属人化を解消し、生産性を大幅に改善。



セキュリティ対策と精度を両立
様々な業務を安全に効率化

安心のローカル環境で、社内に眠る膨大な資料・ナレッジ・画像データを有効活用。独自の情報抽出技術・クエリ補強技術により、高い回答精度を実現。



研究知見の探索から実験実行まで
2つのAIで一気通貫に支援

論文・実験記録を横断し、根拠付きの仮説や処方候補を生成。自然言語の指示から実験手順・条件を作成し、複雑なプログラミングなしで実験ロボットを制御。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

Hutzper

サービスごとの収益構造

サービス		内容	主な原価
画像認識AIサービス	メキキバイト	ハードウェア 買い切り AI構築＋ソフトウェア サブスク or 買い切り Hutzper Insight※ アプリライセンス ライン数に応じた従量課金制	ハードウェアの材料費 エンジニアの人件費 インフラ維持費　等
	メキキバイト以外の画像認識AIサービス	AI構築＋ソフトウェア 買い切り	エンジニアの人件費　等
分析AIサービス	CUSTOM Hutzper Ai	AI構築＋ソフトウェア 買い切り	エンジニアの人件費　等
その他AIサービス	スキルパズル	スキルパズル アプリライセンス 利用人数に応じた従量課金制	インフラ維持費　等
	ラクラグ	ハードウェア ソフトウェア 買い切り	ハードウェアの材料費　等
	リアラボAI	AI構築＋ソフトウェア 買い切り	エンジニアの人件費　等

※ 一部、管理アプリケーション「Hutzper Insight」を伴わないソフトウェアを買い切りで販売する場合もございます。

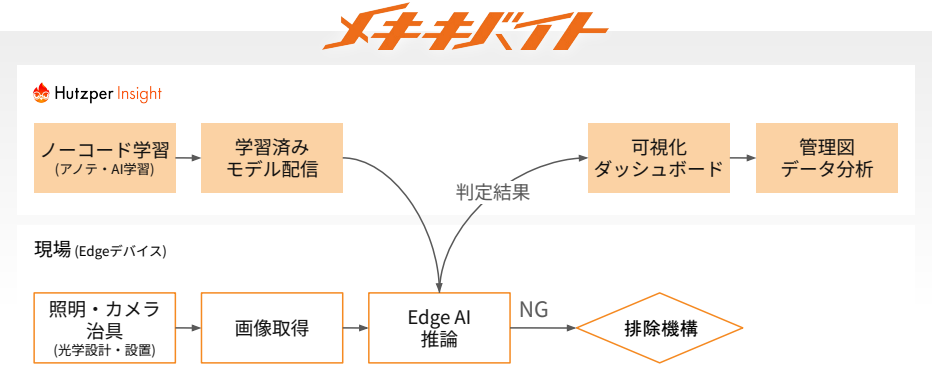
©Hutzper Inc. all rights reserved.

メキキバイト

光学設計からAI構築・運用管理までを包括する 検査自動化プラットフォーム

外観検査自動化AIサービス「メキキバイト」は、製造業の顧客に対し、製造ライン・検査対象に最適化した**光学設計（照明・カメラの選定〜設置）**、不良検出のための**AIモデル構築**と**排除機構連携**、導入後の**運用管理**までを一気通貫で提供します。

AI判定は現場の産業用PCに搭載した**エッジAI**※**で実行し、高速・安定稼働を担保。運用フェーズではクラウドHutzper Insight**を管理アプリとして提供し、顧客自身による**モデル精度向上**と**品質管理**を可能にします。



※ **エッジAI**：クラウドに依存せず、現場の産業用PC上で推論処理を行う方式。ネットワーク遅延や停止の影響を受けにくく、高速・安定稼働が可能。



©Hutzper Inc. all rights reserved.

Hutzper

導入ステップ毎の強み

“作る・動かす・育てる”の全工程を切れ目なく提供し 導入後も運用定着まで継続伴走

トータルサポート

データ、ノウハウ蓄積と活用

導入相談 → ハードウェア設計 → データ収集 → AI構築 → 運用・再学習

要件定義サポート

要件定義を伴走し、目的・評価指標・ROI仮説を明確化。

高度な光学設計 ／ 搬送・排除機構を含めた提案



照明／カメラ／治具の**光学最適化**を実施し、搬送 **排除機構**まで含めて設計。

要件定義サポート

「何を・どれだけ・どの条件で」集めるかを設計し、収集/アノテーションを支援。

最適アルゴリズムの採用 ／ ルールベース組み合わせも可

ソフトウェア　画像処理＋ディープラーニング

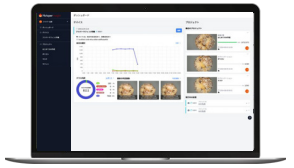


対象に最適なアルゴリズムを採用 **ルールベース併用**で精度×説明性を両立。

品質管理機能搭載

管理アプリケーション

Hutzper Insight



集計・品質管理図　ノーコードAI開発　再学習

同梱の管理アプリケーション **Hutzper Insight**で可視化・自動帳票・JIS管理図。**ノーコード再学習**で継続改善。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

メキキバイトの特徴

顧客の早期投資回収を実現



サブスク転換 従来AIの数千万円〜1億円規模の初期投資／教育費を、**月額課金**に置換。スモールスタートから拡張可能。

伴走一気通貫 データ収集・アノテーション・AI構築・運用支援までを社内標準プロセス化し、**立ち上げにかかる期間を短縮**。

解約耐性 運用定着まで**継続伴走**し、現場発の改善を回し続ける設計。結果として**乗り換え動機が生じにくい**。

料金体系

サブスクリプション契約

ハードウェア	AI構築＋ソフトウェア
個別見積	＋ 初年度 29.8万円/月〜※1 次年度〜 9.8万円/月〜

or

買切り

ハードウェア / AI構築＋ソフトウェア※2

個別見積

※1 AI構築費20万円、Hutzper Insightのライセンス利用料9.8万円の合計金額（AI構築費は初年度のみ発生）

※2 クラウド管理機能である「Hutzper Insight」を伴わないソフトウェアの販売となります

1ラインあたりの平均単価※3
(1ライン導入 FY2025実績)

ハードウェア	AI構築＋ソフトウェア		
	初年度		2年目以降※4
1,080	＋ 404	＋	1,170

＝ 2,655万円

※3 平均単価＝ハードウェアの平均単価＋初年度のAI構築及びライセンス利用料の平均単価＋2年目以降のライセンス利用料

※4 2年目以降のライセンス利用料＝ライセンス利用料の年間平均単価÷（解約率×12）－ライセンス利用料の年間平均単価
解約率は、直近3年間の平均月次解約率を使用

©Hutzper Inc. all rights reserved.

メキキバイトの再現性

従来より“ばらつき”を抑え、ライン速度を落とさない再現性ある検査を実現

現場の課題

目視検査の現場
・日や検査員によって検品精度にムラが出る
・生産スピードを落とさないと判定できない

画像処理センサを導入している現場
・多数ある不良、曖昧な基準をルール化しきれない
・誤検出が多く、結局人の目で確認している

AIによって解決

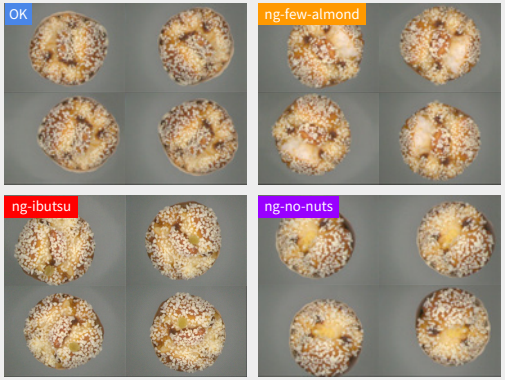
現場でブレない、止まらない運用
・光学最適化＋統一基準で日・人差を緩和
・エッジ推論でライン追従、再確認回数を低減
・AI＋ルール併用で“基準の隙間”を補完

運用の見える化と継続改善
・クラウド自動蓄積→管理図・自動帳票で変動監視
・ノーコード再学習／閾値調整で迅速復帰

Hutzper

※ カップマフィンの検査の例

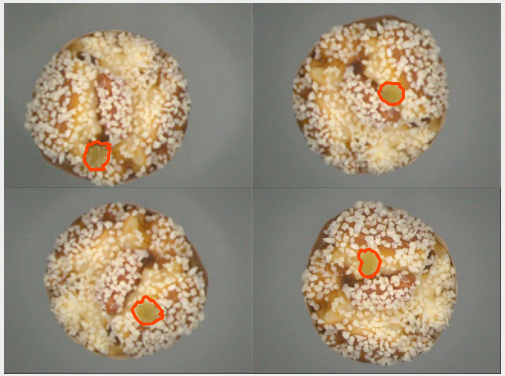
画像分類



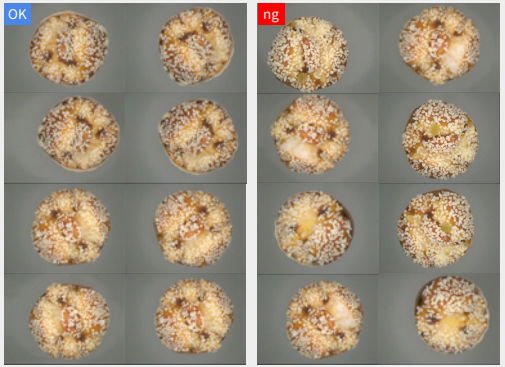
物体検出



セグメンテーション



異常検知



©Hutzper Inc. all rights reserved.

エッジAIとクラウドのハイブリッドによる運用支援

エッジAIで現場を止めずに運用

産業用PC上のエッジAIで外観検査を実行し、ネットワークに依存せず、即時かつ大量処理を実現します。
良否の判定基準は現場側で設定・調整でき、ライン条件の変化に合わせた柔軟な運用が可能です。

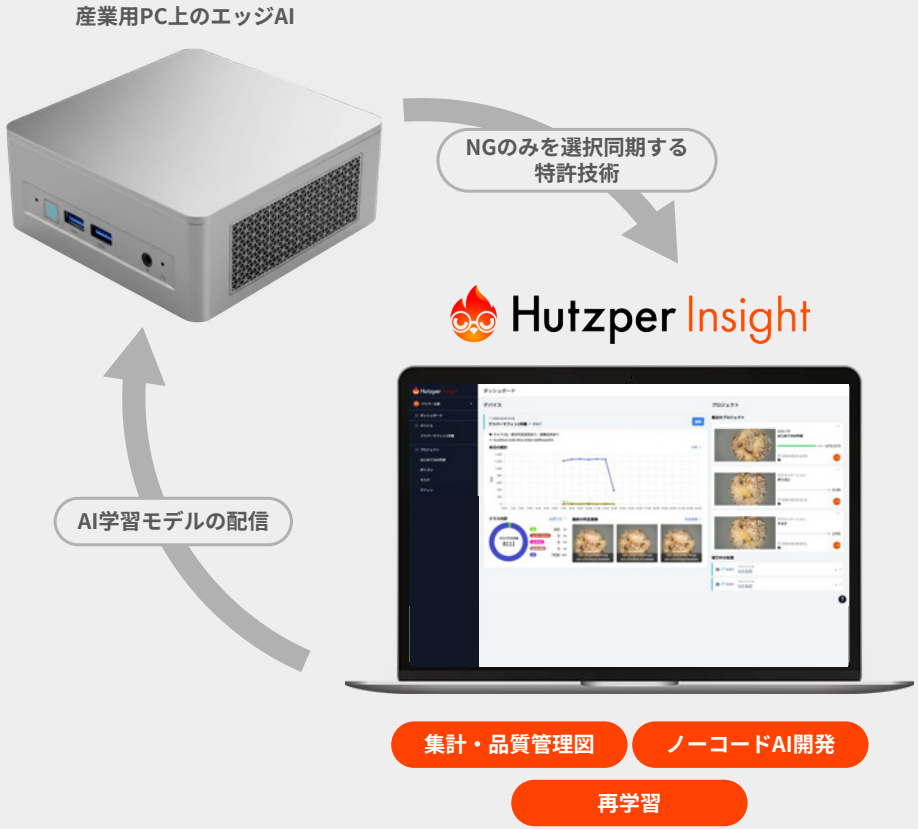
NGのみを選択同期する特許技術

エッジでの検査結果のうち、不良（NG）と判定された画像のみをクラウドへアップロードする特許技術を保有しています。
これにより通信・保管負荷と情報リスクを抑えつつ、改善に必要なデータだけを効率的に収集できます。

ノーコードで改善&品質管理

上記技術を用いた外観検査支援アプリケーション「Hutzper Insight」を提供しています。顧客はノーコードで画像の再分類・再学習を行い、AIモデルを自ら改善できます。
あわせて、Insight上で品質管理（可視化・帳票・各種管理図）を一元的に実施できます。

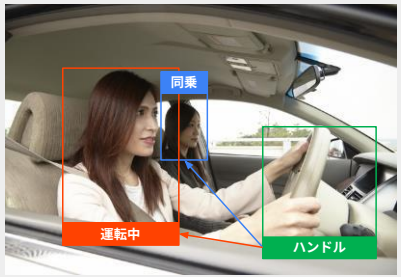
一般的な検査サービスとの違い
一般的な検査システムでは、良否判定データが現場ストレージに滞留しやすく、その後の再学習・品質管理への利活用が進まないケースが多いと当社は認識しています。当社はエッジ×クラウドの分担と選択同期＋Insightにより、データを継続的な運用改善と品質管理に直結させる点が特徴です。



©Hutzper Inc. all rights reserved.

メキキバイト以外の画像認識AIサービス

行動検出



人の動きを“可視化”し、リスクを発見

遮蔽物の多い環境でも稼働可能な**独自開発の行動検出アルゴリズム**を用い、作業姿勢・動線・手順遵守状況を定量把握。
IE活動や技能伝承の高度化に寄与。

事例

- ネットワークカメラによる作業時間分析
- 組み立て作業の手順間違い確認

安全対策



AIで“予防型”の安全管理を実現

侵入・転倒・未装着行動などをリアルタイムに検出するAIを開発。**NEDO採択案件**でも活用されており、建設・製造現場における導入実績を拡大中。

事例

- ネットワークカメラを利用した建設現場の安全点検
- 危険エリア侵入時の緊急停止
- 避難経路における障害物検知システム

POINT

「メキキバイト」で培った画像認識AIの技術を応用し、現場に設営されたネットワークカメラを活用した、作業員の行動分析や安全対策関連のソリューションを提供。エッジ判定でリアルタイムの現場機器連携が必要なものから、クラウド判定での遠隔監視支援まで幅広く対応。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

カスタムHutzper AI

AIスペシャリストによる現場特化のDX

顧客ニーズに応じて、現場データの解析からAI実装までを行うAI構築支援サービス

現場の課題解決へのこだわり

製造現場を中心に多数のAI分析案件を手掛けてきた知見を活かし、
課題発見 → 分析設計 → AIモデル構築 → 業務フローへの実装 → 運用・改善
までを一貫して行い、PoCで終わらない、実際の業務フローに組み込まれたAIを提供。
顧客の現場課題を正しく把握したうえで、コンサルティング、設計、開発、運用、そしてMLOps（AIの継続運用体制）の構築まで支援します。

最新AI技術に精通した専門人材が支える技術優位性

当社には、AI・データ解析・ソフトウェア開発の各分野において、最前線の技術を理解し実装できる専門人材が揃っており、組織として最新技術のキャッチアップを体系的に行う体制を整えており、常に変化の早いAI領域に対応できる柔軟性があります。
生成AI領域においても、高度なカスタマイズ力と技術実装力を強みに、LLMやRAGを実務レベルで活用できる仕組みづくりを支援しています。
これらの技術基盤とチームの総合力により、製造・物流・建設・サービスなど多様な業界に向けて、生成AIを含む技術難易度の高い案件にも対応できる組織力と開発力を有しています。



©Hutzper Inc. all rights reserved.

カスタムHutzper AI 導入事例

POINT 製造業で培った知見と実績を基に、分析設計からAIモデル構築まで**潜在ニーズに応えるサービス**を提供。

データ分析



現場データを未来の意思決定へ

在庫・需要・設備データなどを統合し、**業務別の予測モデル**を実装。精度だけでなく運用性を重視した分析設計により、現場実装率の高い**意思決定支援AI**を実現。

事例

- センサデータ解析および排水処理手法の最適化
- 車両走行時データおよびドライバー官能評価結果の相関分析
- 航空写真の解析および遊休地の選定

予測



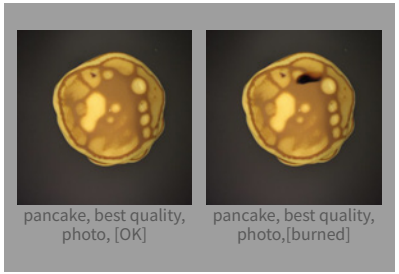
未来を見通し、精度の高い意思決定へ

現場データをもとに、先を見据えた需要予測や故障予兆を実現。データ活用により突発的なリスクを最小化し、安定したオペレーションを支援します。

事例

- 港湾コンテナターミナル内在庫予測システム
- 輸送機器における交換部品の需要予測
- 車両整備データ実績を元にした車両パーツの故障予測および整備提案最適化

生成AI



生成AIを、ものづくり現場の武器に

RAG・LLM・3D/4D生成モデル生成、不良画像教師データ自動生成など、幅広い領域に対応。生成AIの活用研修や業務改善サポートも提案可能。

事例

- RAGを活用した研究開発アシストシステム
- 外観検査の不良画像生成AI

最適化



現場フローを最短・最適に

物流や製造工程における動線や配置を最適化。作業効率最大化とコスト削減を実現し、現場の生産性を高めます。属人的な判断に依存せず、持続的な改善を可能にします。

事例

- 物流倉庫における商品配置と歩行距離の最適化
- トレーラーへの建材荷積み最適化システム構築

©Hutzper Inc. all rights reserved.

人員配置最適化システム「スキルパズル」

生産(作業)計画・スキル・勤務状況から
最適な人員配置をAIが提案

計画業務を効率化し付帯業務を削減

複雑な人員配置やシフト調整をAIが自動化。
属人化していた業務の時間を削減し、現場の管理負担を軽減。

最適な人員配置で生産性を最大化

スキル・稼働状況・経験をもとに、最適な人材を自動で割り当て。ムダのない人員配置で、作業効率と生産性の向上を実現。

計画平準化で働きやすい職場を実現

休暇希望や個人条件を踏まえた平等なシフト設計が可能。偏りのない計画で、現場の納得感と定着率の向上を支援。

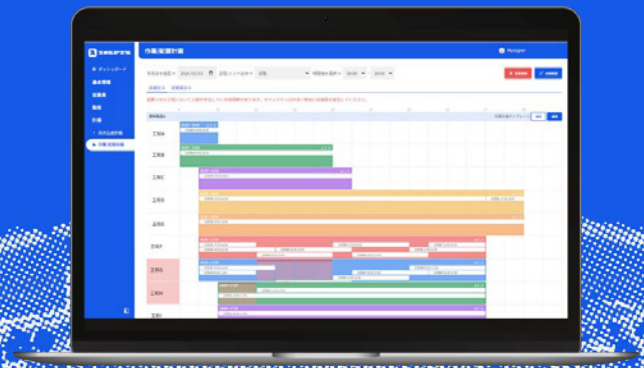
力量に基づく評価で組織力を底上げ

個々のスキルや資格を見える化し、配置と評価に反映。力量に応じた育成計画と適材適所を実現。

Hutzper

人員配置最適化AIシステム

スキルパズル



©Hutzper Inc. all rights reserved.

ローカルLLM「ラクラグ」(らくらくRAG)

Hutzper

POINT 社内情報の検索・回答から、分析・資料作成までを支えるAIエージェントへ

ラクラグ

業務を依頼

過去の不良原因を調べてまとめて

検査記録を集計して報告書にして





専用GPUサーバー
社内に設置





AIモデルを
管理画面で切替

AIが自ら 資料を検索

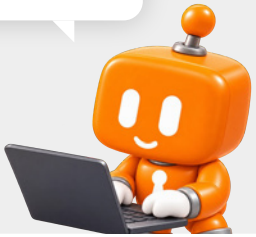
表・グラフも 原本を確認

Excel・CSVを 原本から直接集計

社内資料を検索し、情報が足りなければ条件を変えて再調査。
調査結果を蓄積し、次の質問にも活用します。

回答出力

根拠を示して回答
集計表・グラフ・報告書を作成
Excel / CSV / Word /
PowerPoint
PDFで出力



PPT PDF IMAGE

PPTX、PDF、画像...
様々な形式に対応

ビジネス文書	規則・マニュアル	設計・技術	調達・在庫・購買	品質改善関連	研究・調査
各種企画書 議事録 報告書 見積書 契約書...	内部マニュアル 就業規則 制度ドキュメント	設計書 設計図面 カタログ ソースコード	在庫リスト 購買発注書 トラブル対応履歴	不具合報告書 改善提案書 品質レポート	研究レポート 過去アンケート

機密データを含む多種多様な社内資料に対応

©Hutzper Inc. all rights reserved.

研究開発AIエージェント「リアラボAI」

知識を探索するAIと装置を動かすAIで 仮説立案から装置実行までを一気通貫

リアラボAI Omics Insight

論文・実験記録から仮説を導く

論文・ノートを横断検索
公開論文や社内の実験記録・研究ノートから、必要な情報をまとめて抽出

仮説候補と根拠を整理
抽出した知見をもとに、検証すべき仮説候補と、その裏付けとなる根拠を整理

処方・実験計画を提案
仮説を検証するための処方候補や実験条件、実施手順を具体化

リアラボAI Orchestrator

計画をロボット実行へ変換

自然言語で実行指示
実験内容や条件を会話形式で伝え、複雑な装置操作やプログラミングを簡略化

AIが手順・条件を生成
指示内容を、実験装置が実行できる工程とパラメータへ自動で変換

実験ロボットを制御
生成した手順に沿って実験装置を動かし、実行結果や装置ログを記録





画像認識AIサービス

導入事例 手作りお菓子の外観検査



GINZA WEST × Hutzper

食品製造業 | 物流 | 製造業 | ゼネコン | 一次産業 | 医薬品

Hutzper

メキキバイト

「何万枚」もの目視検査を、再現性のある運用へ

概要 老舗洋菓子メーカー・銀座ウエスト様にて、包装後製品の外観検査をAI×光学設計で自動化。検査基準の再現性を高めつつ、検査体制の省力化と継続的な運用改善を実装。

開発背景・課題



メキキバイト導入前の目視検査の様子

何万枚もの検査を人の目で対応していた

人員不足と長時間労働 繁忙期は多くの人員が必要となり、担当者が深夜まで残業し、月間の残業時間も相当な時間数に。

生産性の限界 検査に人員を集中させるため、製造から梱包まで全体の生産効率に影響が発生。

検査品質のばらつき 目視ゆえの見落とし、疲労による精度低下、新人育成とスキル平準化も困難になっていた。

機能概要・導入効果



リーフパイのサイズに合わせたガイドで回転や乱れを防止。広台設置により効率的な作業にも対応



昇降コンベア＋スライドシュートでワーク損傷を抑えつつ回収性を高め、他工程製造～包装に効率よく連帯。

メンテナンス性への配慮

- 片側集約設置でメンテ容易に
- 砂糖・破片対策として照明へ定期エアブロー機能を設置
- 清掃性を重視し光学機器は上下稼働可能な形式に

導入後のサポート

導入初期の想定外にもウエスト様と二人三脚で日次連絡・週次現地対応を重ね、現場合意の品質管理基準まで伴走。その過程で強い信頼関係を築きました。

数字で見る導入後の劇的な変化

配置最適化・生産性向上 検査工程に多くの人員を割いていたが、AI導入により同工程をわずかな人数に削減

残業時間の大幅削減 検査工程：繁忙期の22時頃までの残業が、**ほぼ残業なし**に改善
製造工程：月間残業時間が大幅に削減（**約20%減**）

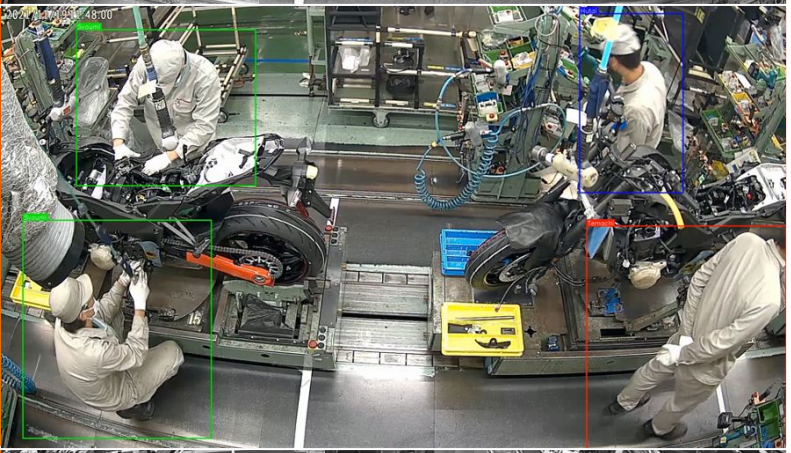
検査精度の向上 NG画像の選択同期→Hutzper Insight上での学習・品質管理により、**使うほど精度が向上する**運用へ。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

画像認識AIサービス

導入事例 作業時間分析







Kawasaki
Powering your potential

Hutzper

川崎重工業株式会社とモビリティ組み立てラインにおける行動分類AIの構築

ビジネスアイデアの概要

AIをはじめとしたテクノロジーの積極的な導入を目指す川崎重工業株式会社と弊社は、関連会社であるカワサキモータース株式会社の組み立てラインに設置されたネットワークカメラの動画から、行動(正味/付帯/手待ち作業)を分類するAIモデルを構築。

骨格検出を用いない分析手法を用いることにより、ツールなどの障害物に影響を受けにくい形で行動を分類。動的に各行動の時間を測定可能なシステムを構築することで、さらなる生産性の向上を目指す。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

分析AIサービス

導入事例 研究開発 AIエージェント



食品製造業 物流 製造業 ゼネコン 一次産業 **医薬品** Hutzper

リアラボAI

ロート製薬株式会社との共同開発による研究開発AI『リアラボAI』

CEATEC AWARD 2025 ネクストジェネレーション部門賞受賞

CEATEC AWARD 2025 ネクストジェネレーション部門を受賞

概要 リアラボAIは、当社技術顧問・金出武雄教授（カーネギーメロン大学）の監修のもと開発した統合型AIエージェントです。

開発背景・課題

- 標的探索段階でのデータ探索・解析設計、処方設計→実験実行
- 膨大なデータベースから目的に適したデータを探し出す作業
- 解析のための前処理やパラメータ調整
- 処方設計のための情報収集
- 実験手順の作成や実験ロボットへのプログラム実装

これらの非創造的な作業に**多大な時間**が費やされ、かつプロセスが**属人化**しているため、解析の再現性確保や専門ツールの利用が一部の研究者に限定されていた。

機能概要・導入効果





開発の様子

自然言語対話で**データ探索→解析→処方設計→実験ロボット制御まで**を連続実行し、ドライ×ウェットを跨ぐ統合型AIエージェントを開発することにより、**属人作業の標準化と再現性向上**を実現。

今後の展望 CEATEC AWARD 2025 ネクストジェネレーション部門の受賞を機に、医薬・化粧品・食品などヘルスケア/バイオ領域への社会実装を加速し、共創領域の拡張（化学・材料等）と、標準化プロトコル／運用指標の確立を目指します。また、展示・共同実証を通じた導入モデルの磨き込みと横展開を想定しています。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

導入事例 港湾コンテナターミナル内在庫予測システム





「Forbes JAPAN Xtrepreneur AWARD 2024」
ノミネートプロジェクト



CUSTOM Hutzper Ai

AIを利用した港湾コンテナターミナル内在庫予測システムの開発

ビジネスアイデアの概要

山九株式会社・株式会社インフォセンスとの三社共同開発プロジェクト

東京港にて、将来1ヶ月間のAIを用いたコンテナ在庫予測を実施。
過去実績データや航路情報、経済指標を活用して予測することで高精度を実現。

本システムを他港の各港湾利用会社にも展開することで、共通の予測結果を元にターミナルオペレーションを効率化し、待機時間やバンプール退避時間の短縮を図り、全体最適を目指す。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

導入事例 物流倉庫でのスキルパズル活用



物流業の枠を超える
郵全株式会社
YUZEN CO.,LTD.

食品製造業 | 物流 | 製造業 | ゼネコン | 一次産業 | 医薬品

Hutzper

スキルパズル

属人化していた人員配置業務をスキルパズルで標準化

開発背景・課題

- シフト取り纏め作業＋配置計画作業に時間がかかる (6-7時間/週間+α)
- 毎日のように突発休暇者がいるのでその都度組み換え作業が発生し手間がかかる
- スキルや人的相性を把握している方が1名しかおらず、配置計画作業が属人化している

Before



管理者は**紙ベースでシフト希望**を集約。
作業員のスキルや相性を考慮し、1週間単位で人員配置を計画。
完成した計画は、**紙で日別に掲示**し現場へ通知していた。

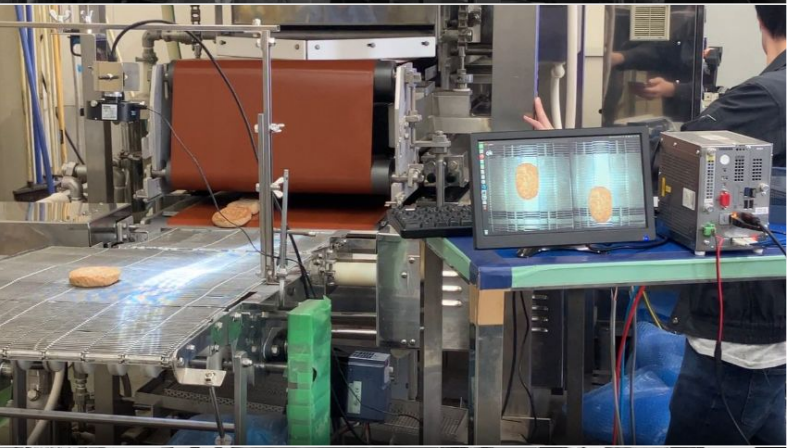
After



- シフト取りまとめ作業＋配置計画作業の省力化 **(1時間/週間)**
- スキルマップの形式化、配置計画作業の標準化
- 突発休発生時の組み換え作業の迅速化

©Hutzper Inc. all rights reserved.

導入事例 不良ゼロのスマートファクトリー実現を目指した取り組み



TOSHIBA SunMax

クラウド型PLCと外観検査AIを活用した歩留まり改善システムの実証実験

東芝インフラシステムズ株式会社「Meister Controller Cloud™ PLCパッケージ typeN1」と製造業向け外観検査＆品質管理AI「メキキバイト」を活用したスマートファクトリーの実現

連携設備：サン・プラント工業株式会社「焼成機/SM-TGC450-2000」

ビジネスアイデアの概要

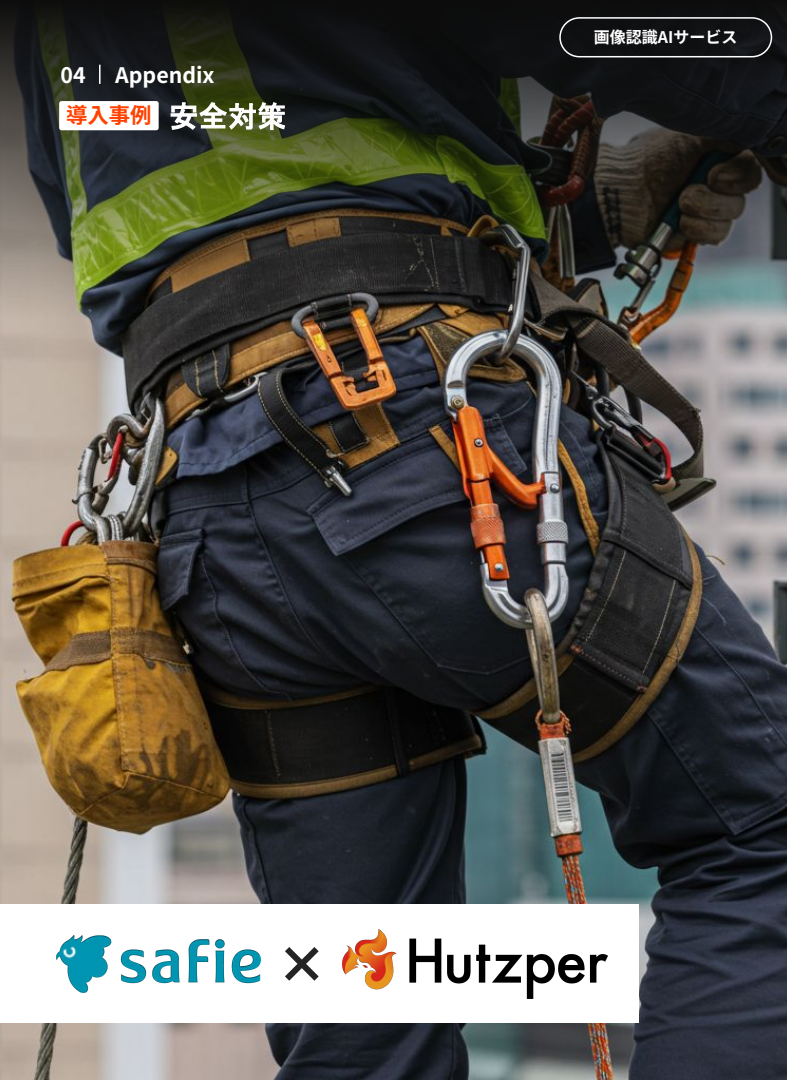
複数工場/複数機器から収集される大量のデータを利用して、各工場/工程における最適製造条件をAI活用で算出し、クラウド型PLCで一括制御をおこなうことで、工程の省人化・歩留まり改善を図るシステムを構築する。

食品加工機械メーカーのサン・プラント工業株式会社ご協力のもと、上記構想の第一段階として、ハンバーグの焼き具合(生焼け/正常/焦げ)を判定し、ローカルで自動調整するシステム構築の実証実験を実施。

外観検査AIで焼き具合判定・不良品排除→クラウドサーバー上で不良品発生原因をAI分析し、最適条件の算出→オーブンの温度・スピードをクラウド型PLCによりコントロール。

今後は工程全体の機器、複数工場にまたがるデータを収集・制御し、そもそも不良を作らない工場、省人化を実現したスマートファクトリーの実現で、食品ロスなど事業系廃棄物の削減を目指す。

©Hutzper Inc. all rights reserved.

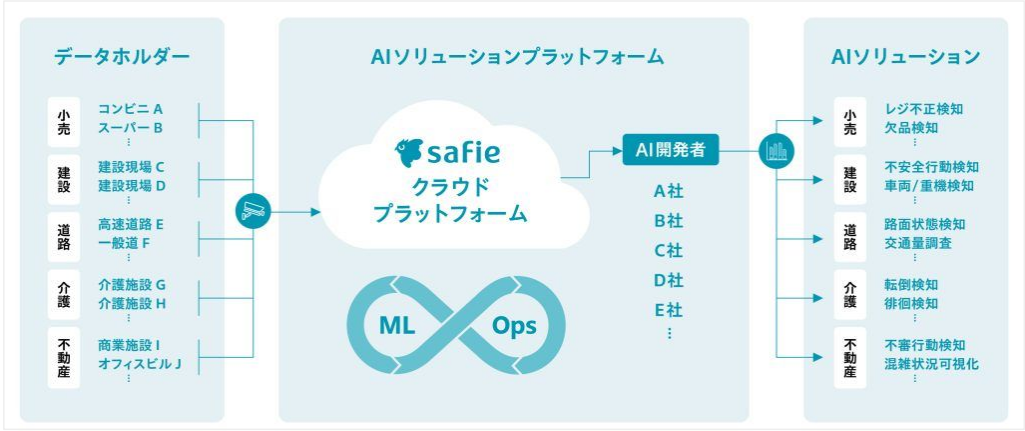


safie × Hutzper

映像 × AI で「現場の危険」を見える化する

概要

クラウド録画サービス国内シェア No.1・セーフィー株式会社との事業連携
建設現場における不安全行動検出 AI の共同開発（NEDO公募採択）



出典：セーフィー、NEDO公募の「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／データ・生成AIの利活用に係る先進事例に関する調査」に「AIソリューションプラットフォーム」事業案が採択
https://safie.co.jp/news/3560/

©Hutzper Inc. all rights reserved.

導入事例 3Dアニマルツイン技術を用いた
牛の体重／採食量推定システム



Marubeni × Hutzper

一次産業にAIの眼と脳を

概要

- 3D画像解析技術を活用し、カメラ1台から牛の**体重および採食量を非接触で推定**
- 飼育現場の**労働負荷削減・家畜データの可視化**を実証

撮影

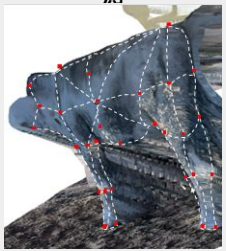
RGBDカメラで撮影



非接触

各部位の表面長を計測

表面上での距離を計測



体重/採食量算出

- 140を超える空間特徴量の取得
- 月齢や種別、性別といったメタデータをもとに体重を算出
- 完全ローカルにて高速に判定



データ蓄積

- BeecoProgramプラットフォーム※での管理・運用
- 現場の情報をタイムリーに飼料会社、金融機関等に共有



項目	内容
社会課題	畜産業の人手不足／成長把握が不完全
技術的優位性	周回することなくカメラ1画角から高速に判定／固定式にも対応
将来展望	飼育最適化・疾病予測／他分野（物流・建機）へ展開

※生産者、飼料会社、獣医師等向け丸紅プラットフォームhttps://beeco.eco/

©Hutzper Inc. all rights reserved.